京城日報
廿三日夕刊
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢
廣告料
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

◎露帝國民議長謁見

露國皇帝は二十日國民議會議長を一時間に亙りて謁見せられたり（露都電報）

◎諸新聞の勅語評

露帝の首相に下し賜ひたる

露國諸新聞は總理大臣ゴリツイン公に下されたる勅語を評して勅語中聯合國と一致協力して勝利を制するに至る迄は戰爭を止めずとの語に重きを措き又た勅語に政府と立法部との和衷協同の必要を示されたるに滿足の意を表せり（露都電報）

◎鄭家屯事件愈終局

公文書交換は廿三日頃

鄭家屯事件に關し北京に於て彼我の間に公文書の形式字句等に就き協議を重ねつゝありしが既に彼我相方の意見一致したれば二十三日には公文書交換の運びとなるべく內容は廿六七日頃公表せらるべしと（東京特電）

◎倫敦火藥製造所失火

火藥全部の爆發其他被害夥し

英國兵站所公報に曰く十九日夕刻倫敦の東方テイムス河附近の火藥製造工場に火を失し數分後火藥の爆發起り多數の職工は身を以て逃れたるも火藥全部及び工場は全然灰燼に歸したり尙ほ火は附近の倉庫諸工場等に延燒せるが其の中には重要なる製粉所あり爆發は遠距離迄も感じ現場附近の家屋三戶は殆んど倒壞し其の他損害を被れるもの多し（倫敦電報）

◎漏洩事件擴大

講和通牒漏洩事件益々擴大し紐育の大銀行家召喚取調べを受けたり（紐育電報）

◎排日案と輿論

アイダホ州議會に提出

米國アイダホ州議會に排日法案提出せり輿論沸騰せり（紐育電報）

◎寺內首相の演說

並に外相藏相の演說

二十三日午前十時より貴族院に於て寺內首相の施政方針演說本野外相の外交演說あり午後一時より衆議院に於て勝田藏相の財政演說ありたり（東京特電）

◎長春最近財況

長春に於ける最近財況を聞くに特產物は當月愈々出廻り盛季に入り各地の廻著頓に激增し來り從つて長春驛の發送高も亦前月に比し四割一分の增加を示し

▲大豆雜穀 を合し八萬二千四百噸に達せり上述の如く出廻りの增加に伴ない著しく資金の需要を喚起し金融一時繁忙を告げたるも中旬に入るや大豆雜穀共に母國との利鞘減少したるのみならず大連の堆貨早くも三十餘萬噸の多きに達し船腹の不足に加へ貨車の配給亦十分ならざりしを以て輿地商人は一方新規買附を手控ゆると共に他方手持品の輸送に腐心し三線連絡輸送を企つるものあるに至れり如斯狀況なりしを以て北滿地方買附品に對する資金の需要も少ならず加之此方面の放資は東滿各驛貨車の不足甚しかりしより資金の轉轉思はしからず多少固定的傾向を生ぜる嫌ひなきに非ざりしも貸出は爾來漸減季末に至るも一般の

▲金融圓滑 にして頗る平靜裡に越年せり輸入は當月穀物の出廻り激減に加へ前月末以來全く結氷期に入り地方との交通自由となり馬車の入市多かりしを以て相當荷動きあるを豫想されたるに反し月初以來露貨の急落に加へ官帖亦下押し一方殊に綿絲布相場は高値にあり一般に先安を見越され居りしを以て只當用の小

◎物價依然漸騰

其筋調査客月に於ける京城物價騰落の狀況を聞くに朝鮮主要生產品十八品中騰貴は十品保合五品低落二品にて又輸移入重要品十五品中騰貴は八品保合五品而して低落は僅かに二品にて大勢依然として騰貴の趨向を改めず其の內譯を示せば左の如し

▲輸移出生產品

▲騰貴十品 大麥、小麥、小豆、蕎麥、眞荏、明太、松蕈、木炭、牛皮、牛脂

▲保合五品 鹽、木綿、紬、松板材、朝鮮紙

▲低落三品 玄米、籾米、大豆

右騰貴品中大麥及び小麥は品拂底に加ふるに昨年水害の減收著しき事一般に知了せられたる爲めなるものゝ如く小豆は結氷期となり主產地江原道よりの廻著杜絕せし事主なる原因と思はる眞荏は產地減收の爲めと見るを至當とし明太は在荷拂底の爲めに强含み松蕈木炭は產地品不足なるに寒氣嚴烈なる爲め需要激進したるによるものゝ如し牛皮は講和提議の獨逸より起り一時相場氣迷ひの模樣なりしも改良大皮は尙ほ需要多く供給不足の爲めなり

▲輸移入重要品

▲騰貴八品 精糖、醬油、支那紬、石油、石炭、燐寸、木材、金物

▲保合五品 麥酒、清酒、麥粉、打綿、洋紙

▲低落二品 綿糸、和金巾

騰貴品中精糖は引續き海外輸出旺盛の餘波の高値にて石油は需要期に入れると內地にては對支輸出好況にて加ふるに容器材料の騰貴其の因となり木材は各產地の騰貴殆ど底止する所を知らず入荷不足の爲め石炭亦同樣の理由に基づくものゝ如し

◎總督邸晚餐會

長谷川總督は二十四日午後六時三十分憲兵隊長警務部長會同の爲め入京中なる各道憲警部長を官邸に招待晚餐會を開く總督府よりは山縣政務總監、宇佐美內務部長官、國分司法部長官、兒玉總務局長、立花警務總長、古海總監部警務部長、白水參謀長、秋山司令官、荻田官房局長、武官、副官、秘書官、憲兵隊司令部警務總監部より軍以下高級副官各課長等參列し軍よりは立花中將出席の筈にて主客三十七名の豫定なり

◎政務總監東上

山縣政務總監は遠藤秘書官其他を隨へ不日京城出發東上の事に決せり出發の日時は未定なるも本月中には著京の運びに至る可く其の東上は議會の解散と否とに關らずと云ふ

◎憲警部長會同

第二日

臨時憲兵隊長警務部長會同第二日は前日に引き續き二十三日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、各道憲兵隊長警務部長は勿論長谷川總督山縣政務總監以下關係各部長局長所屬官署の長課長等列席し古海警務總長統裁の下に直に日程に入り午前午後とも管內狀況報告ありて三時三十分閉會したり

◎移民規則認可申請

東洋拓殖會社にて既報の如く立案せし新移民規則は各方面との交涉審議終了したるに付淨書校合の上二十三日其の認可を求むべく總督府に提出したり大正六年の募集計畫は右認可後決定を見るべし

◎京電株主總會

決算及增資案共原案可決

京城電氣株式會社にては二十二日東京生命保險協會に株主總會を開き大正五年下半期決算及び利益金分配案を附議し原案通り配當は年九分の割にて通過引續き現資本金六百萬圓を

九百萬圓に增資し新株は三月一日現在の株主に對し舊株二株に付一株宛を割當る件も可決確定せり

◎釜山沖の暗礁

生島附近に二個發見

過般義勇艦隊の樺太丸より釜山沖生島附近に暗礁ありとて其地點を示し報告あり當局にては時を移さず搜索探究を行ひし所樺太丸にて指定せし以外の場所に甲乙二個の暗礁を發見したり該暗礁は水面より約二尋下に付大型汽船が其上を通過すれば暗礁に觸るゝ虞れあり當局は近く其位置の公示を行ふ筈なるが一般航海業者の注意を望む旨伊藤海事課長は語れり

◎就學兒童屆出

來る二月二十八日限り

京城府にては京城學校組合の區域內に居住する明治四十三年四月二日より同四十四年四月一日迄に出生したる兒童を有する者は來る四月一日を以て就學の始期に達するにより其保護者たる者は所定の入學書に戶籍謄本若くは抄本を添へ來る二月二十八日限り京城府學務係又は京城府龍山出張所宛屆出すべき旨の告示を發したるが右の生年月による時は數へ年八歲の者は四月二日以後に生れたるものにして數へ年七歲の者は四月一日前に生れたるものとなる次第にして四十三年四月一日前に出生したるものにして尙ほ就學を爲さざる向は入學を許さる可く更に如斯不就學兒童あらば相當勸誘されたしとのことなり、入學願書の提出に際し兒童の謄本或は抄本を添附すべきは前記の如くなるが更に其前に當り兒童の居住屆の手續を了し居らざれば就學上差支を生ず可きにより豫め此邊の調査を爲し若し未濟の場合は至急屆出を爲すべしと入學せしむ可き學校は日出、南大門、櫻井、龍山の各尋常校、鍾路、西大門、元町等の尋常高等校及び四月より開校さるゝ東大門小學校の以上八校にして京城府は屆書受附後調査を行ひ來る三月下旬入學指定の學校名及び入學式日等を各屆出人へ通知すべしと

□內蒙古の鑛產

最近某外人の調査に據れば內蒙古に於ける鑛產總數は三百五十三處にして其種類は金鑛、炭鑛を最多とし銅鑛、鐵鑛は之れに次げり卽ち金鑛八十九處、炭鑛一百二十七處、銀鑛二十三處、銅鑛六十三處其他各鑛五十一處なりと

◎昨年の朝鮮移出牛

大正五年度朝鮮移出牛檢疫所に於ける結果は入所頭數一萬四千八百二十一頭にして內譯を示せば斃死二十九頭撲殺六頭故一萬四千四百二十二頭撤回十二頭にして性別は牝牛一萬四千七百五十六頭 ▲仕入地別は京畿道（廣州郡楊州郡水原郡坡州郡）百七十六頭、忠淸南道（大田郡）九十九頭、全羅北道（錦山郡）二十三頭、慶尙北道（大邱郡慶州郡醴山郡淸道郡醴川郡金泉郡）二百四十八頭、慶尙南道（釜山府馬山府梁山郡東萊郡金海郡）一萬三千二百七十七頭、黃海道（瑞興郡鳳山郡）二百十九頭、江原道（鐵原郡）五百三十八頭、咸鏡南道（元山府）八十二頭にして ▲仕向地は山口縣四千三百七十頭、香川縣四千三百〇七頭、廣島縣三千三百三十五頭、兵庫縣八百九十八頭、大分縣五百十三頭、高知縣四百十九頭、大阪府三百八十三頭、愛媛縣百五十六頭、島取縣四十五頭、福岡縣九頭、長崎縣四頭、計一萬四千四百十九頭 ▲購入價格を月別にすれば（一頭平均）一月二十五圓、二月二十六圓、三月三十一圓、四月三十四圓、五月三十八圓、六月二十七圓、七月二十八圓、八月二十七圓、九月二十八圓、十月三十圓、十一月三十圓、十二月二十九圓、一箇年平均二十九圓に相當せり

◎京電借入金償還

京城電氣會社の株主總會にて三百萬圓增資の件可決せし事は別項の如きが會社にては其の第一回拂込みを四月一日迄に四分の一乃ち七十五萬圓をなさしめ拂込濟みの上は直ちに擬ねて事業費として第一銀行より借入れ居る八十萬圓の償還を行ふ由

◎鮮銀券發行高

朝鮮銀行券の一月十四日より二十日に至る總發行平均高は四千百七十五萬二千九百八十圓にして正貨準備發行平均高は一千五百七十七萬五千九百三十八圓保證準備二千五百九十七萬七千零四十二圓なり

◎急行列車延著

二十三日午前八時南大門驛著の京義線急行列車は金村驛にて貨物列車脫線の爲めに約五時間餘延著せり

◎元山商議役員改選

元山商業會議所副會頭及常務委員補缺選擧の結果副會頭に石和房治常務委員に小林儀三郎、鹽興植の二氏就任の件此程總督府より認可されたり

◎地方民風改善

平安南道順川郡順安警察署管內の居住民は六千三百八十七戶なるが內約八割は貧民の部に屬するものにして常に遊惰の弊風其跡を絕たず風俗不良なりしが當地官憲は之れが改善の急務なるを認め此弊風を一掃せん事を獎勵する處ありしも常に成績思はしからざりしが昨年六月頃順安官憲は從來取り來りたる其方法の宜しきを得ざりし事を深くも研究し該地方は鑛業地なるに依り其必要品卽ち草鞋の製作雨天亦は降雪嚴寒等屋外作業困難なる日を利用してなさしめたるが非常の好成績にて各自の所得金は便所の改造煙突の新設消防器具の購入費等に充當なさしめたるが近時農民間の弊風漸次改善され今尙該作業を繼續中なるが五年十二月末現在の製作品は一九七四六足にして之れを時價に見積り一千五十五圓五十錢の物を有するに至れり（平壤）

◎慶南島燈臺點火

慶尙南道統營沖島燈臺の建設は當局にて昨年來銳意施工中の所此程全く竣工し近く其の點火を行ふ由なるが同燈臺はアガ式閃光にて二千燭光を放ち夜間海上十二浬を照らす由尙ほ無監守燈臺なり

◎交通銀行借款成立

日支親善の見地より成る

日本興業銀行、朝鮮銀行、臺灣銀行の三行と支那交通銀行との間に假契約成立したる五百萬圓の借款は日本側代表者たる興銀理事二宮基成氏十八日北京到著交涉の末交銀總裁曹汝霖氏との間に二十日本契約を調印せる旨我筋へ入電ありしが契約は本契約と附則の二種に分れ本契約の條項左の如し

一金額　五百萬圓
一名目　交通銀行整理借款とす
一手取　平價とす
一手數料　一切省略
一期限　三箇年
一利子　七分五厘
一抵當　交銀所有海蘭鐵道公債陸軍部公債等の有價證券

尙ほ將來交銀に資金を要する時は先づ興銀臺灣朝鮮三銀行に相談する事となり附則は

▲同銀行顧問 として日本人を傭入るゝ事を規定せり右に付關係當事者の談を聞くに今回交通銀行の借款は全く日支親善の見地より締結せられたり故にコンミッションも省略し其の擔保の如き同行所有の有價證券に過ぎず又利子の如き年七分五厘にして內地の利廻り八步に比すれば寧ろ低きに過ぎたる觀あり此點に於て普通內地銀行間の貸借と異なる事なく隨って

▲交銀も滿足 し居れり唯曹汝霖氏の關係に對し議會等にて若干反對黨の批難あるは止むを得ざるも若し曹氏なかりせば右借款は到底成立せざりしなるべし目的は昨夏政變以來交通銀行は發行紙幣の兌換停止を行ひ居れるに付其の救濟に充つべきものなり云々尙ほ五百萬圓の三銀行引受高は興銀三百萬圓鮮銀臺銀各百萬圓ならん

◎釘本藤次郎氏の招待會

京城の實業家釘本藤次郎氏が恒例に依る友人招待會は二十二日午後七時半より花月に於て開會 來會者は金谷府尹宮館署長其他主なる銀行會社の代表者民間有志新聞通信社員等八十餘名にして主人の挨拶に次ぎ來賓を代表して金谷府尹の謝辭あり盛會裡に九時散會したり

仁川

▲商業學校生徒募集 仁川公立商業學校にては來る三月第一學年生約六十名を募集する由なるが志願者資格は明治三十八年四月一日以前出生にして普通學校卒業者又は此と同等以上の學力を有する者にて本年度よりは官公立普通學校優等卒業者及び修業年限二個年の公立簡易學校卒業者に當該學校長の推薦に依る者は無試驗入學を許す可し入學試驗期日は四月四五兩日にて出願期限は三月二十六日なるを以て志願者は入學願に履歷書を添付當校に提出すべしと ▲發明品展覽會 愛知縣商品陳列館にては二月二十日より三月三十一日迄四十日間發明品展覽會を開催する由にて仁川商業會議所へも管內當業者の發明に係る特許品實用新案品商標意匠圖案及び此等出願中の者等を出品勸誘方依賴し來れり ▲寺內伯に記念品 仁川にては稻野俊成、奧田貞二郎、丁致國の三氏發起となり寺內伯に對し記念品贈呈の爲め官民有志の醵金を募る事となり目下勸誘狀を發したり

釜山

▲水產定時總會 釜山水產會社定時株主總會を二十一日午後四時半より商業會議所內商工俱樂部に開會 大正五年度下半期營業報告、同決算報告、同株主利益配當金（年一割三分三厘卽ち一株に付一圓）を可決し次で同社定款中任意積立の廢止を可決し後役員の改選を行ひたるに取締役に大池忠助、迫間房太郎、中村俊松、竹下佳隆の諸氏當選し監査役に豐田福太郎、坂田文吉の諸氏當選したるが廿三日午後一時より社長及び專務取締役の互選會を同社會議室に於て開會する筈 ▲長崎商業同窓會 長崎商業學校同窓會釜山支部は廿一日午後五時より愛月に於て總會を兼ね新年宴會を開催したるに出席者三十餘名にして支部長改選を行ひしに永見京造氏再選せられ其れより宴に移り頗ぶる盛會なりし ▲在鄕軍人新年會 釜山在鄕軍人分會新年宴會は廿一日午後七時より南濱町芳千閣に於て開催したるが出席者は吉成分會長其他六十餘名來賓には玉木運輸支部長樋口守備隊長野津憲兵分隊長等にして午後十時散會したり ▲釜山車輛長交迭 朝鮮鐵道局釜山車輛長河內明輝氏依願免職に付松浦熊雄氏は車輛長心得として龍山より著任廿二日より出務せり ▲各市場休業 廿三日舊曆正月元日に相當するを以て穀物市場水產市場食料品市場を始め鮮人各商店は舊慣に因り一般に休業す ▲圍碁大會 釜山圍碁大會は廿一日午前九時より料亭守谷樓上に開催したるが出席者は七十餘名にして決戰の結果賞品を得たりしは一等山本、二等古川、三等藤井、四等磯野、五等陶山、六等森、七等石井、八等中島、九等五島、十等田中の諸氏なりしと ▲警察官受賞 釜山警察署在勤巡査三好善輔、同坂井末松、同岡部幸介の三氏は大正四年御擧行の御卽位大禮に關し特命に因り諸大官の警衞其他取締の任に當り關釜間を往復して任務を盡したる功少なからずとし二十二日賞勳局總裁より目錄附大典記念章を各下附せられたり ▲黃海丸代船就航 朝鮮郵船會社の雄基間司線の黃海丸は修繕の爲め二十二日午後十二時長崎へ回航するに就き之れが代船として平壤丸を代船として就航せしむる筈なり ▲朝鮮輕鐵總會 朝鮮輕便鐵道會社定時株主總會は二月五六日頃東京鐵道協會にて開會の由 ▲檢事正著任期 釜山地方法院檢事正に轉任を命ぜられたる元大邱地方法院檢事正大村大代氏は本月末來任の筈なりと ▲白土採取事業擴張 釜山多賀谷秀平氏等の經營せる蔚山郡溫陽面火鉢觀なる三興商會の白土採取事業は近來諸方の注文輻輳せる爲め大擴張を爲し採收する由にて仕向先は上等品は京都松風會社及び九州の陶器製造所なり

大邱

▲浦項港灣實地調査 慶北迎日灣は浦項を中心として東岸に於ける重要なる港灣なるにも係らず年々風波の爲め多大の損害を蒙りつゝあるが爲め浦項港灣期成同盟會は鈴木慶北道長官が長官會議の爲め出府中を機とし過日役員中谷竹三郎、關島伊平、光永喜七の三氏を出京せしめ親しく陳情する所あらしめしが總督府に於ても陳情の意を諒とし慶北道廳と打合せ是の善後策を講ぜしむる方針にて取敢へず廿日梯葉技師を浦項に出張せしめ實地調査する所あらしめたり ▲浦項鰊漁盛況 慶北浦項には今や漸く鰊盛漁期に入り連日多少の漁獲あり十九日一同四十圓廿日一同三十六圓を唱へつゝありしが廿一日二千同（一同は二千尾）餘の大漁あり一同二十四圓の相場を見るに至り本年は豐漁なる可しと漁民は喜びつゝあり ▲浦項北川口測量 慶北浦項北川口は去年來の風波の爲め閉塞し船舶不通となりたるを以て慶北道廳にては二十日より六日間の豫定にて谷道技手を派出し是が善後策に就き實地測量に著手す ▲パーレー貸耕 慶北永川郡新寧地方はパーレー貸耕作に適地なる爲め專賣課大邱出張所にては本年度に於て三十町步の試耕をなし大に改善を圖る可く計畫を進めつゝあり ▲達城郡道路計畫 慶北達城郡にては來年度に於て大邱より慶山に通ずる一里餘同新溪街道に通ずる二十餘町及び齋里洞街道に通ずる三里餘の道路を改修すべく其筋に認可申請中なるが總工費六千圓にして該道路改修の曉には物資の運搬に非常なる便利を與ふ可しと ▲金融家招宴 松尾朝銀支店長中飼慶農銀支配人安東東拓大邱出張所長は二十四日午後六時より大邱官民有志數十名をやまとに招き新年宴を催す

春川

▲經理講習會 江原道憲兵隊本部に於ては今回管下各分隊經理主任たる憲兵伍長十名を召集し鎌田主計擔任の下に十八日より二週間經理事務講習會開催中なり由來憲兵分隊には別に經理部下士を置かず憲兵下士をして經理事務に任ずる規定なるが齋藤滿期又は轉出入の結果之等初任者に對し經理の講習を授け一面隊內經理の齊一を圖る目的にありと

人事往來

▲勅使河原平壤地方法院判事▲秋場公州地方法院檢事正▲關口平壤地方法院檢事正▲中山大邱覆審法院長▲鈴木釜山地方法院長は何れも二十三日朝退京
▲木村林次郎氏（三菱社員） 二十三日夜入京眞談に投宿の筈
▲三井榮長氏（農務課技師） 忠淸南北、全南、慶南地方へ出張中の處此の程歸任
▲八谷生男氏（同上） 二十一日本府に出張即日歸任

猪の大群が散兵隊形で芋を喰ふ

山奥の憲兵の生活は辛いよ

咸鏡南道警務部長 小河憲兵少佐談

我輩の咸鏡南道は朝鮮中で一番面積の廣い處だ、試みに京元線の三防邊から長白山の麓まで直線をひいても大した長さだが海岸線が百四十里あるとは島渡君等も驚くだらう、それに同じ道内でも海岸地帯の住人と山間の者とは生活狀態から氣風からが異ふ詰り海岸地帯の劣敗者が山に逃げこむで暢氣な生活をするといふ風があるので他所のやうに極く貧乏者は居ないやうだ、そして山に入つた先生は火田生活といふのをやる、火田とは立樹を伐り拓いて火を放ちそのあとに

◇燕麥、馬鈴薯を 植ゑるのだが近來は火田だけは取締つて居る燕麥と馬鈴薯とは我が咸南の奥地に於ける名物だが實際甲山、豊山、長津、三水郡あたりへ行くと海拔一千二百米突の高地で惡いものが出來ぬから仕方がないよ、それに時々は野猪の大群が何百頭となく襲來して兵隊さんの散兵よろしくの隊形で以てドシ／＼芋を喰ひつくすには閉口する、まあ

◇總てのはなしが 山ばなしぢやから南鮮の人には想像もつくまい、それから田舍の憲兵などは隨分酷いところに居るよ、就中一年中で十日間も井戸の氷が融けぬところも珍らしくない始末豊山郡の雲龍とか新興郡の元豊里などは實に酷い、那麽ところでは細君のお産にも主人が取あげ婆にならねばならぬそれに

◇學齡兒童は小學 校が無し五つ六つになれば鮮人の子供とばかり遊んで日本語が皆目解らぬといふ始末でこれには全く恐れ入る次第さ、夫に山地の森林には千古斧鉞の入らざる落葉松の大森林ばかりで虎が出る豹が出る、お剩けに熊公が出る、ヌクテが出る、現に元山の獵師などは此の冬に入つてから既に大虎と豹とを擊ち留めたなどと

◇威張つてゐたよ 產業は他道に比し稍遲れるかも知れぬが鑛產はなか／＼豊富で久原の甲山銅山あたりは御承知の通り大規模のものだ、貨物の呑吐港は城津か新昌かどちらがよいか久原も大に研究中のやうだが重たい荷物は皆新昌を通過する、新昌から甲山までは山路四十五里の難所であるが今に道路が完成すれば自動車が通ふ現に

◇久原でも計畫中 だが一臺二噸積として五臺で一日十噸搬べるから充分だらう其の他千佛洞の金鑛や鐵、黑鉛等なか／＼に多くこれから追々よくなるだらうよ

砂金掘り

東洋唯一の採鑛機械

錦江を溯る石油發動機船

忠淸南道警務部長 神田憲兵中佐談

私の忠淸南道かね、御生憎樣だが私は昨臘六日に赴任したばかりでまだ一向觀察が行き屆かぬ、それでも明治四十年頃、朝鮮の地方が騷々しかつた頃には天安に居つて忠淸南北道を驅け廻つたこともあつたがね、今では丸きり變つたやうだ、爲に錦江の流れは何うかつて錦江はだん／＼河床が淺くなるやうだね、何んでも以前は石油發動機船が芙江あたりまで溯航したといふことだが今では江景あたりしか行かぬ、なに鐵道との關係がイヤ那麽ことも無論あらうさ併し

◆兎も角 淺くなるのは事實だね、なに安眠島は奈何と、ハヽヽ、あすこも此の頃は大に禿げたやうだね、元はなか／＼の森林だつたが多分盜伐でもやつたんだらう、古蹟などのことは

▽一向私には解らんよ、何處かの氣風か、それは全道通じてむかしから兩班儒生の多いところだから少々高尚なとも云へるだらう、犯罪か、これも何處も同じ窃盜、詐欺、橫領で月並千萬

◆鑛產に は青陽のタングステンあり稷山金鑛ありなか／＼自慢するに足ると思ふ、現に稷山の如きは近時東洋唯一の採鑛機械を据ゑ附けドシ／＼砂金を採掘してゐる

▽何んでも此の機械によれば土砂から選鑛まで獨りでやるさうだ

尤もこれも見ないはなしだから そのつもりで聞いて呉れ給へ、なに扶餘の百濟ばなしかそんなはなしはクダラヌはなしさ、保證金なんぞと

◆云つて も我輩共の方にはそんなことに手を出す金が無いから道廳でやつと海岸はむかしから支那との交通があつたらうつて？いや大にあつただらうが我輩は知らぬ

▽併し日淸戰役の發端が牙山灣に上陸した支那兵と成歡、牙山に衝突したとは知つてゐる

なに道路か、これは前の服部警務部長が大に開修に力めたから全道

◆唯一の 立派なものぢや、その他農產物には錦江流域の米もあるが要するに私の道は平々凡々たるものでー向おはなしがない

◉帆柱を折る

廿二日午前八時三十分頃關釜連絡船高麗丸が釜山港外牧の島燈臺沖合に航行し來りしに一艘の帆船帆柱を折り遭難の信號を爲し居たるを發見し救助せんとせしも淺瀨の爲め近寄ること能はざるを以て其儘入港し水上警察署へ屆出でたるに因り同署警備船小蒸汽船玉の浦丸は直ちに現場に急行したるに遭難船は釜山本町三丁目鈴木商會支店傭船關水丸(三十八噸)船長愛媛縣越智郡大井村字濱白井伊三郎(三八)外三名乘組にて一月十四日午前十時大連にて散鹽五十三噸を滿載し釜山に向け航行中廿一日午後一時頃暴風の爲め帆柱を折られ航行の自由を失ひ居たるものと分り玉の浦丸は廿二日午後一時同船を曳き釜山に入港したるが損害は帆柱の破損せしのみにて積荷及び人命には何等故障なく被害は僅かに四十圓位なりしと(釜山)

◉畑中の一軒家で

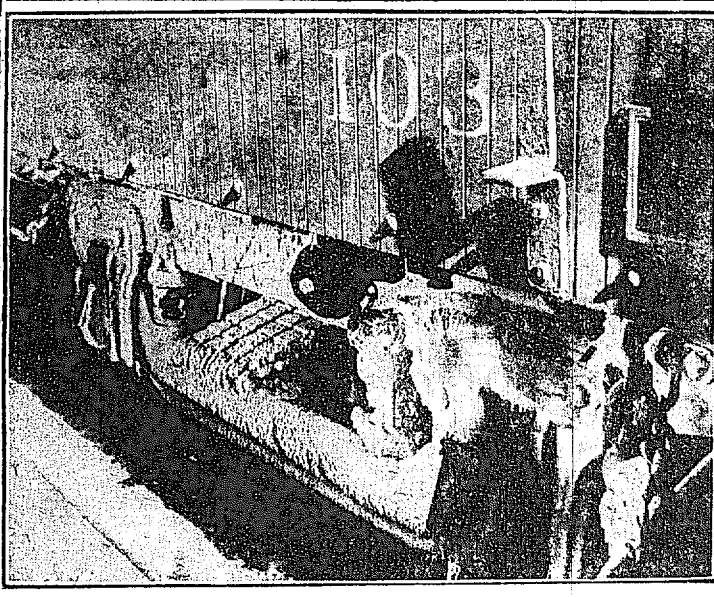
龍岡郡書記一家慘殺事件第三報

▲慘憺たる現場 嫌疑者五名引致

二十二日午前五時平安南道龍岡郡廳書記竹中勇(三七)妻うし(四〇)三女きね子(三)の三名が薪割にて慘殺されたる次第は既報の如くにて犯人は犯跡を晦す爲め同家に火を放ちたるを郵便局遞送人金泰煥が發見し大聲にて人々を呼起し驅け付けたる時は勇は入口に全身血塗れとなり頭を打碎かれ妻は室内にて丸裸の儘頭部を碎かれ半身黑焦となりて即死し小供は寢たる儘黑焦となり即死し居れり原因不明多數の刑事犯人搜索中加害者の遺留品なし嫌疑者五名取調中なり(龍岡特電)

▲檢事現場に急行

兇報一度傳はるや憲兵警察官の活動目覺しく二十二日午前十一時平壤地方法院牧野檢事檢證の爲め出張し平南道廳よりは喜多警務主任憲兵隊よりは福田副官現場に急行したり尚鎭南浦警察署よりは古市司法主任部下の刑事及び巡査を引率して急行嚴重搜査中



車軸結氷 二十三日午後零時南大門驛に著せる急行列車

▲稀なる讀書家 藏書二千圓以上

竹中郡書記の住宅は龍岡邑内の山手畑中の一軒家にして元栗井同郡書記が住宅に日本家屋一棟を建造し同郡書記新任後竹中氏借宅居住せるが被害の原因については或は強盜の所爲ならんと云ひ或は同氏に對する何かの報復ならんと云ひ取止めたる事實を知るに由なく只創傷の模樣よりして夫婦小兒共斧を以て打斷られたることを推定し得るのみ竹中氏は高知縣長岡郡上倉村八京十番屋敷の士族にして明治三年一月二十三日の生れなるが氏は

▲英語に巧にて 明治二十六年郷里の中學校に英語教員たりしことあり廿九年高知縣文官普通試驗に合格し其後同縣の屬官及び長岡郡の郡書記を勤め明治四十二年韓國政府に傭聘せられ安州郡主事に任ぜられ四十三年官制改正の際總督府郡書記として陽德郡に轉勤を命ぜられ大正四年四月龍岡郡書記に轉じ現職にありたるの人性謹直勵精倒罷な拔き人望渺からざりしが今日此變に遭遇したるは實に悼惜に堪へざる次第なり殊に氏は

▲非常の讀書家 にして現に貯藏せし圖書二千圓以上に上り就中大著述と云ふ著書は大抵購入し大英百科全書の如き或は日本百科辭書の如き國民文庫の如き漢文大系の如き文明協會著書の如き最近の大著述にかゝるものは直に購入し殊に最近の著述になれる物集博士の廣文庫並び群書索引の如きも第一に豫約を申込みたるの人なり常に一室に書物を積並べ書架の中央に机を置いて端坐し客あれば其中に酒を酌む等普通人と異りたるところありたり

▲熱涙の力、安州農學校を興す 感ず可き故人の隱れたる逸話

竹中氏の逸話として未だ世間に知られざる一大事蹟あり氏は安州郡書記在勤中同地にありし安興學校が常に政治に關して動もすれば不穩の行動を爲すを以て當時同校の學監安奭の行動を遺憾なりとし一夕安奭を自宅に招待し懇々時世の推移を說き同校の主義方針を改善せんことを求めたるに安奭容易に應せず氏は懇々として淚を流して說くところあり安奭終に同氏の熱心なる正論に感服し終に安興學校を廢校し公益事業に寄附すべしと誓ひ現に今の安州農業學校は當時の安興學校にして當時資產一萬何千圓の物なりしが竹中氏の靈力に依りて今日の隆盛を見るに至りたるものなりと云ふ

▲篠田部長の談

兇報に接し篠田一部長は悄然として語りて曰く惜しいことをした郡書記と云ふ雜務に執掌してゐる中にも隨分感服した人物であつた官吏としてあれだけの篤學の士を見ることは他に出來まい殊に職務にも熱心であつた兇行の原因は何も判らぬが充分の弔をしてやらねばなるまい因に竹中氏は二十二日附を以て俸給一級を進められ六級俸に昇進すべしと云ふ(平壤支局)

◉變裝して徘徊

忠淸南道牙山郡仁川面大音里十統九戶當時住所不定洪思國(三七)は大正三年九月より昨年六月頃迄忠南論山郡廳に於て雇員を奉職中種牛貸入の爲め各面長より徵收したる公金六百七十八圓を橫領し論山邑某内地人料亭の酌婦に入れ揚げ全部費消したるが九月十日惡事露見に及ぶと共に安東縣へ逃走し諸所を徘徊の後支那服を著して去る一月八日平壤に歸り市中を徘徊中平壤署の刑事に取押へられ取調べの上一月二十二日平壤地方法院檢事局へ送らる

◉嬰兒を生埋めに 姦夫婦檢擧せらる

全南和順郡綾州面壤德里尹孟元(四七)は其の親戚にして同郡道谷面周道里孫道基の妻金姓女(四七)と大正四年九月より私通し其の結果同女は大正五年八月十七日夕刻男兒を分娩したる際夫の手前及び世間態を恥ぢ兩名共謀の上件の嬰兒を雜巾に包み金姓女方の前方畑の一隅に穴を穿ち生きながらの生兒を埋沒死亡せしめたること此程發覺し兩名は遂に和順憲兵分隊派遣所の手に檢擧されたり

◉貧民に白米を

京城府麻浦洞の金世熙は舊歲末に際し麻浦洞並に桃花洞の貧民救護の爲め白米三俵(二石四斗)の分配方を龍山憲兵分隊に申出でたるを以て二十一日分隊より大野分隊長有元伍長京城府龍山出張所より宮坂主任麻浦洞に出張し同洞の上貧民二十七戶の戶主を召喚し隊長より金世熙を紹介して懇篤なる訓示を與へ二十七戶七十三名に對し一人當り三升餘を分與したるに何れも金世熙の厚意を感謝したり

灯ともし頃

佛蘭西教會堂のミューテル僧正は四十年以前鴨綠江を渡つて義州統軍亭の排水口から朝鮮に這入つたドシ／＼首を刎ねられた時分で僧正の布教は實に命がけであつた▲僧正はふだん變裝の大帽子を冠つてゐたが子供が下からのぞくのには冷汗が出たといふ▲今の教會堂の丘を占めたのも僧正であるが最初の小さい溫突で布教したところは今に彼處に遺つてゐる▲郷里佛蘭西へ歸ればミロの僧正(希臘のヴ井ナス女神のある島)として立派なものだが四十年一日の如く溫突住ひ▲小さい暖爐で塵埃の中に經書を讀んで貧乏人同樣の生活をしてゐる▲朝鮮の名前は閔德孝斯う云へば十三道到るところ知らぬ者はない▲そして在鮮の外人に朝鮮名をつけるのは僧正の得意で鮮語は金雲養先生達同樣な古典なものを自由に用ゐ先日も『私は既に朝鮮人に換臟した』と云つた▲換臟は盡しすつかりその國の人になるの意で今の若い鮮人は知らぬ言葉である

急行列車の南大門驛特發

原因は金村驛の貨物列車脫線

二十三日午前二時四十分南大門發開城行貨物列車二百八十五列車は午前四時金村驛に進入の際

▲ポイントの故障 により機關車及び貨車二輛脫線したるも折柄陰曆元旦にて附近鮮人等の人夫招集に應ぜざりし爲め復舊容易ならず此の脫線の爲め安東縣發釜山行急行列車は金村驛北方入口にて線路の復舊を待ち

▲午後零時に至り 漸く復舊し金村驛を發し午後一時五分南大門驛著釜山内地行乘客は午後七時五十分列車に乘込む筈にて尚釜山内地方面行午前八時三十分南大門驛發急行列車は南大門より特發し安東行列車は南大門驛より午前十一時遲發せしめたり

▲暖房に汽力を取られて

此頃の列車は機關車の故障頻々

此の頃列車は殆ど毎日寒氣の爲めに故障で延著して居る列車が寒さの爲めに受ける主なる故障は機關車であつて安東方面から來る列車に在つては殆ど機關車の、

▲全部が氷で 凝りまつて終ふと云ふ有樣です隨つて機關の各部が圓滑なる運轉を爲ない爲めに列車の遲延を來たす事が多い又急行列車などになると客車の暖房に多くの蒸汽を取られて終ふ爲め特別の事故は無くとも列車の遲延は免れない、又各停車場每で洗面所の凍結を融かし又は便所の梗塞を通ずると云ふやうな事でも大分暇が取れる其の上

▲車軸の油が 氷る爲めに油を潤めして居る毛が車軸から飛出して終ひ之れが爲めに車軸に熱を持つて運轉不能となる事も少くない其外にポイントの凍結列車のドアーの凍結等は頻々として起り此の寒氣の爲め列車の遲延する事は殆ど不可抗力といはねばならぬ(南大門驛助役談)

●二百五十圓拐帶 德島縣[illegible]玄界樓、住吉亭と依蓮の上豪遊を極[illegible]

●泥棒大工捕はる 平壤水玉里大[illegible]し同家を立出んとしたる處を密行中[illegible]巡査に逮捕され取調べの[illegible]

[illegible]小栗虎吉、大澤文二等(四十一名)二十二日午前九時三十分釜山入港高[illegible]

讀者文藝 課題及募集規定

■募集規程 同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名月日の事 ▲用紙は端書又は[illegible]

天氣 晴れ (廿三日午後六時より廿四日午後六時迄)

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著 改訂增補第三版

朝鮮不動產商業登記申請書式

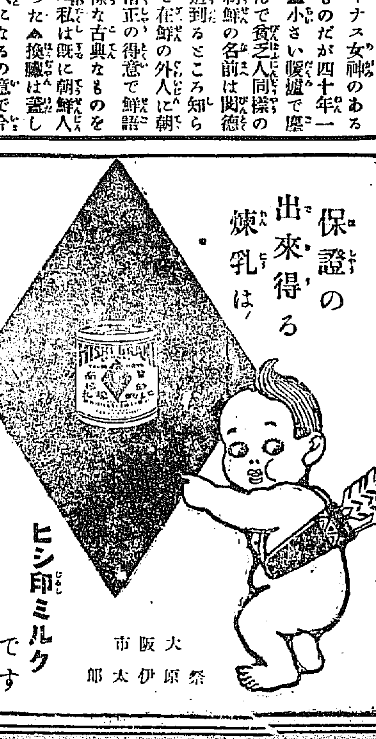
◎紙數四百八十餘頁 ◎代價金壹圓 郵稅拾錢

既に再版一萬部を賣盡し尚各方面よりの注文盛なるを以て此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補茲に第三版を發賣するに至れり抑登記に關する知識は本書に說き盡して餘蘊なし

卷中 不動產登記の部 には土地調查に關聯せる登記法に依る申請書式、印鑑證明願、委任狀、契約書、保證書、官公署の囑託書式等並に印鑑屆、改印屆、登記に關する土地變更事項に關する證明申請(京城府所定)決議書式並に建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲げ加之實例等苟も申請人の參考となるべきものは擧て各書式の末尾に之を掲記し以て疑歎なからしむ 商業登記の部 には未成年者、妻、法定代理人、支配人及各會社に關する申請書式等を明釋し又書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、商號、會社、代書者必備の參考書たり

賣捌元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城一二五七三 大阪屋號書店



移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記へ移轉仕候也

健康長壽 補血唯一劑 高麗人參精 製劑元

京城府黃金町三丁目一九一

朝鮮蔘藥研究所 坂崎謙介

電話二七六八・振替京城四二〇四

攝津灘 大塚釀造所吟製

京城本町二丁目 發賣元 前田酒店

電話一三七番 振替口座四二五番

鐵工業

陸用汽罐汽機製造並に修理
船用汽罐汽機製造並に修理
精米用諸機械製造並に修理
鑛山用諸機械製造並に修理
建築用金具其他一般鐵工業

造船業

汽船新造並に修理
帆船新造並に修理

引揚船渠の設備あり

鎭南浦府億兩機里二番地

株式會社 中村組鐵工部

電話一六一番

…亡し行衛を晦ましたるより尹…ては爾來入方捜索中なりし所去五日以來木浦櫻町遊廓萬爾樓、三橋樓…りと彦なる事判明し目下釜山に照會中な…

…後入時頃新倉里朴宗華方納屋に忍び入り白米五斗代金六圓のものを竊取

…後九時釜山入港さくら丸二等客 一等(一名)山口武 二等(九名)相良友三、入見帶一、神田精規、宮原省己、辰島銀二、小澤字二郎、平高峰二郎 …校、同龍男、田野政之助、同勇子、内藤利一、佐藤彦一、長谷川忠作、森上田八郎、…、伊藤幹太郎、…人一名 三等(百二十七名)

△一口噺(…の事に就て) △下肴付「立聞は」 △…めぐ… △俗謡… △川柳「坂」

同 廿六日 同 廿七日 同 廿八日 同 廿九日 同 卅日 同 卅一日

通告者には五十錢書籍券を呈す(但…)△何番何號と明記に限る ●宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

報

二十三日正午 十三度五 … 十度三分 … 六度 … 一度一分

●遊び樂しむ五日間

舊正月で陽氣な鮮人街

仁川に於ける精米業の發達は近年驚く可き趨勢を示して居るが、最近の調査に依ると精米工場は約十箇所計りで其の精搗高は實に年十六萬七千石以上に達して居る、從つて此れに使役する

▲米撰女工の數も千を降らない相であるが此内内地人は百名内外で他は殆んど總てが鮮婦人のみであるから精米工場の存在は仁川に於ける鮮人側の經濟上に非常な福音を齎らして居る理で引込み思案のオモニ連も競ふて米撰をして家計を助ける樣になつた、其結果嚴寒で戸外勞働の出來ぬ亭主や子供を纖弱女の

▲手一ツで養ふ者が尠くないと言ふ現狀で、舊臘以來の酷寒で舊正を前に控へて居る關係上殆んど休む者も無かつた處が二十二日は舊の大晦日二十三日は愈々待ち憧れたお正月と言ふので各工場では二十二日の朝からバッタリ仕事を中止して舊の五日正月頃からボツ〱

▲機械の運轉を開始する事となりどの工場にも音律悠やかなアラン歌や發音の怪しいサノサ節も聞ねなくなつたが、一方鮮人部落へ行くと何處の家でも大陽氣、女だてらの大胡坐で、珍菓濁酒の饌美魚を卓子か何かの上に載せて遊びます遊びます!遊びます!で男と共に

▲亂舞謳歌するのをよく見受ける斯くて從來の習慣から謂へば大抵十五日頃迄は仕事の事は噯にも出さずに遊ぶのであるが近頃は生活費が向上して昔の樣な餘裕は無い結果一日も早く仕事に出る樣な傾向になつたので精米所側も大喜びで

▲成可く出勤を早くする樣にと勸誘して二三年來からは大抵四日五日の休業で打ち擧げて平常通りの作業を繼續して居る樣である(仁)

樂しい舊正月 鍾路にて

◎平壤は零下二十八度五分

平壤測候所の調査するところに依れば本年一月上旬來の寒氣は平壤測候所開設以來未曾有の低溫にして十八日來殊に激烈を加へ二十一日未明の氣溫氷點以下二十七度七にして二十二日未明の氣溫二十八度五なりと云ふ而してこれを前年に比較するときは明治四十四年一月十三日氷點以下二十六度七に下りたることありしも此一兩日の寒氣は眞に平壤測候所のレコード破りなりと

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽川柳『島』

○おしどりに石一つほる獨身者(一等) 京城旭町一丁目 白洞誤仙
▲島さしは昨日の分も下げて出る 龍山 岡本小草子
▲行詰り島屋の鍋に餅が浮き 龍山 呑天公
▲初陣の分捕品は島屋から 京城 南山
▲狩獵家はきまりの惡い島を買ひ 龍山 玉村軒
▲西鄕の頭でも島は糞をかけ 京城 白樂天
▲鮮人日活動館の島を埋め 長興 三木南山
▲課題及び募集規定は欄外にあり

●野口技師の篤志 本月三日公務を帶び春川に出張の際旅行より急性肺炎を併發し遂に死去せる江原道平康郡畜産技手槙一其一氏(二七)に對し江原道廳各郡畜産技手等香奠料を醵出し遺族に贈呈したるが今回總督府技師野口獸醫正より弔慰金五圓を贈り來れり(春川)

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町)二十三、四、五の三日間午後二時より三日教あり
○護國寺(旭町三)二十三日午後七時より法要及び説教話は二十四日午後三時より日宗婦人會ありて餘興等あり

だいどころ その日〱

▲あい鴨の葛煮 あい鴨をお刺身の如く大切りにして葛粉をまぶし置き鍋の方へお酒、味淋醬油を煮立て別に芹を笹がき一寸五分位の長さに切り前の煮立ちし汁にて煮る芹へ汁の注み込みし頃に鴨を入れ鴨に火の通りし頃を見計ひ以上二種を盛合せて胡椒を添へます

◆熱の出る時、便秘の時

時候柄感冒に罹る子供が非常に多いやうだが小學兒童の缺席の原因は大抵感冒と發熱です乃で子供が熱を出すと直に

◆解熱劑を服ませて一時も早く熱さへ下ればよいと思召す方が多い樣ですが其は素人考へでございます寸時も早く醫師に診て

◆病を判斷して貰つた上で手當をするのが一番です、これと同じこと便秘の時も無暗に下劑や

◆灌腸のみをするのは却て宜しくありません、先づそれよりも第一に食物に氣をつけ野菜類を增し必ず品を取り換て

◆同じ物を續けて食させない樣にしなければなりません、且つ便秘などいふ事は子供の耳へは入れない樣にしなければなりません、非常に神經が手傳ひますので自然に

◆出づ可きものも出なくなる樣な場合があります、入浴の度數を增すこと、及びマッサージすることは共に必要です、朝起きる前に

◆床の中で腹部を揉むか或は湯へ入つた時に揉みます、斯樣にしますれば、朝水を飲む必要もなく、いやな下劑の御厄介になる必要もないのであります

商況

東京 公債直取引(電)

二十三日出來値 五分利 九四、七〇 … 九四、七〇

債券現物特電

深川在米特電

二十三日現在高 朝鮮米 三三、一〇二 … 遲羅米 九、八七一 内地米 一、六六〇、七六一

東京期米特電

二十三日前場 三月限 寄付 七一、〇七 高値 七一、〇〇 安値 七一、〇五 止め 七一、〇〇

大阪株式

二十三日前場 銘柄 … 宇治川水電 神戸電氣 京阪電鐵 和歌山電 合同紡績 鐘淵紡績 同上新株 東洋紡績 大日本麥酒 日本郵船 大阪米穀 東京新株 大阪新株

大阪三品特電

二十三日前場		
一月限	一七八、九〇〇	一七八、五〇〇
二月限	一七八、二〇〇	一七八、八〇〇
三月限	一七九、五〇〇	一七八、八〇〇
四月限	一七九、四〇〇	一七七、一〇〇
五月限	一七七、一〇〇	一七六、九〇〇
六月限	一七七、〇〇〇	一七六、五〇〇

大阪期米特電

二十三日前場 當限 寄付 一五、四三 中限 寄付 一五、九四 先限 寄付 一六、六三 … 止め

下關期米特電

二十三日前場(舊正月休場、順季延され) 當限 … 中限 一六、… 先限 一六、…

雜報

◎今後の送炭

京龍間の貯炭は當分の需要に應ずるに足らず各需要者の補給計畫は着々進捗して海陸兩路全般に亙りて之が配給に努めつゝあり、遠からず市場を潤すべきか今最近に於ける移送の狀況は左の如し

一、撫順炭安東縣以南に下るもの毎日十一乃至十三車此中龍山遞送新安州及び龍山の陸軍瓦斯會社用五車にして永登浦製糖に京城水道用の契約炭二車あり殘り四五車分の中二車を地方に向け其他を京龍間の消費に充つ漸次增加の見込

二、海路は年初元山に千噸位揚陸したる外昨今駒形丸三千噸南鮮に廻航して目下の築に揚陸尚ら鐵道用に充つ十六共同丸は最近十日以内に仁川著三百噸内外を陸揚すべし

三、安州炭十八日初めて南下せし以來今日迄約六車廻著今なほ貨車の不足に苦しみ居れるも毎日一車位の著炭あるべし

四、九州炭、古河の分既報の如く今月中五百噸著三井移入の千噸又來月初旬に入らむ

五、平壤無烟炭、目下約三車の輸送あり需用車を用ゐ五車に增加し地方行きに二車を充て他を必需口に仕むくべし

以上を綜合するに京龍間著炭は撫順安州平壤等を合して約五六車あり逐日更らに增加すべく之に九洲炭の到著を見込みて今後十日間餘に約三千二三百噸以上の到著あるべく給供不足を告ぐる事なかるべし

●澱粉依然不味

本品は…産地は…て依然…不味

▲大麥は産地高の京城安にて不味にて地元は四圓五十五 唱へ市中値は

京城雜穀

舊正見當ての荷捌けず市中在荷舊正不高は粟綠豆の二品が多く諸品概して持合の姿にて眼先き

京城正米

本日は舊正元旦に當り鮮商一般の休みとて商内皆無なりと雖も氣配は依然として強合みなり眼先は出穀の如何と期米の成行き次第なるが農家は手元の富裕と先高理想の加從り居る折柄舊正休中は到底出穀を望み難かるべく從つて此弊人氣も一層强むる事ならが目下の處强發的の兆しき氣配なかるべし

●鰹節稍下押し(鰹節)

は世上一般の好景氣の影響と昨年秋漁の不良なりし爲め昨年末には正月需要の盛へ土佐上物の九十圓內外といふ高値を唱出せしが此高大需要の一段落と春漁期を迎へ人氣は稍は下押し模樣と變ぜり今後春漁の模樣如何によりては更に一低落を見るに至るべしと

大阪市價に近づきたれば鮮商の購買力增して二三月頃の需用期を迎ふるならんと測るもの多し

…行はるに到り且各地の在品減少して大阪市價に近づきたれば…

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電話三〇九番 長九一二番

●昨冬來の綿布

去年下半期豐作見越しのため綿糸布の見込買行はれて内鮮人とも手持品多かりしに舊臘中講和說の際の三品市場の下落にて…

米國品も比較的低廉なる爲め…後と雖も輸入の減退を見ず市中にも殷物調製の如きは鮮内に於て製造せらるゝもの漸增し近來内地移入品の…約半ばを防ぐに至れり

四割高に當り居れり之が主…

シャベル五割蛾額

鶴嘴約二倍

平均二割高の見當

更に一層の增加

殆ど二倍近く

●農蠶具好望

農蠶具の賣行は產業の獎勵發展に伴ひ農具の改良と俟つて逐年增加を示しつゝあり京城よりの供給として中南鮮全般及び平安道方面は比較的取引少なく此地は主として釜山平壤の供給地とせる爲めなるも品の不揃ひと之等の補給注文は矢張京城に注がれ來るを以つて當地の商圈は殆ど全鮮に亙り居れり而して昨年の賣上高は農具約二割方の增加の見込にて蠶具に至つては生産の激增に從つて殆ど二倍近くに達せしもの如し…結果本年の賣行も高値なりし…更に一層の增加を示すに至るべく昨今當業者の準備期として尤も好望に注目されつゝあり價格は金物及木材價格の騰貴を受け前年より平均二割高の見當なるが其内金物の使用量多き物程騰貴率高く鶴嘴の如き戰前に比し約二倍シャベル五割蛾額四割高に當り居れり

望み難きもの如し

大勢の軟化は…熱狂的の奔騰は

八圓臺も大持合ひの姿…況は輸出筋及思惑筋の氣乘り薄なると一面買人も昨今無き樣なれば自然沈靜の傾きなるが如し最近傳ふる處によれば輸出筋中には英米何れかが不明なるも

▲多少注文を握れりとの說も存し居れば目先の底荷として新規手持の要なしといへど之に依つて急激なる直りは望み難きも此邊底入れらしき風情もあり且つ今後此程の注文續出するに於ては大勢の軟化を見るなかるべしと要するに金融關係と講和說以來自重の念を抱ける今日なれば最早前日の如き熱狂的の奔騰は望み難きもの如し

南大門の廻穀

…十錢見當

▲小麥 持合ひ ▲綠豆 産地十一圓十錢なるに市中十一圓二十錢見當 ▲大豆 持合ひ ▲小豆 …▲栗 …▲胡麻 …

…舊正月の影響をうけ…

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 三巳仲買店 電話三三三 振替口座京城四〇三

仁川現物市場

平澤白米	五四	平澤小豆	二一
平澤白米	一三五	水原白米	一三一
平澤白米	一三五	平澤精米	六
平壤胡麻	三六	平康米	四一
島山白米	五六	平澤白米	三九
天安白米	三一	平澤白米	二六
天安小豆	七三	平澤白米	三九
島山白米	二一	平澤白米	八一
平澤白米	四〇	成歡白米	一九〇

釜山の市場 廿二日

▲白米入津なし ▲正米入津なし ▲大豆入津なし 氣配は變らざる唱へ

…大阪期米は一昨日は…

生魚市場

玄米 千三百五十五個 大豆 千二百二十六個 總計 百十九個

…鯛一二、鰤一、…

仁川期米

▲二十三日前場 大阪天候曇

前寄十六圓六十 三十五錢 天前寄十六圓六十 三錢と昨止より十二錢安の入電二節六十

確實 迅速 仁川海岸町 取引所仲買人 電話六五番 一六〇番 六三二番

六錢の移り

…

焦付き模樣

…

市場零聞

▲前場焦げ付き 天候

…

仁川米豆取引所

二十三日の三月限

	前場	平均値
寄付	十三圓九錢	一
止め	十三圓九錢	二
高値	十三圓十錢	三
安値	十三圓八錢	四
出來	一萬三千五十石	五

賣買取組高

一月限 一萬石 二月限 五萬四千六百五十石 三月限 八萬四百石 二十二日後場 前日と比較

白米標値準

十四圓八十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 十五錢五厘 次白 十五錢

▲期米目先觀

仁川市場の定期米は大阪の變動に附隨せず保合小相場を繰り返し居るか動かざるに非ず精局動けざるのである是が理由と見るべき者は毎報せし如く此程

大手筋の腰入深甚

…に押目には買物多くして…

外賣り物少

…

沿線筋も存

…

▲米の仲買店は今回業務擴張の爲め仲買店向側へ移轉せり

仁川米豆取引所仲買人 ㊐仲買店 電話四二八二番 …二八三番

▲當限受渡豫想

…

▲一萬六七千石

…

▲市場閑散

…

▲㋑能く買ふ

…

▲㋣大に買る

…

▲前の手振

…

商業登記公告

株式會社明治屋監査役三上重明八任期滿了ノ處大正六年壹月拾四日重任シタリ
東亞煙草株式會社取締役藤田謙一ハ大正六年壹月八日辭任シタリ
右大正六年壹月貳拾貳日登記

京城地方法院

公告

建築圖工及筆生試驗ノ上採用ス
志望者ハ一月二十七日午後一時筆墨携帶當部ニ出頭スベシ(製圖器ハ貸與ス)
大正六年一月廿三日

朝鮮駐剳軍經理部

訂正廣告

過日來木材の値上廣告致候處歩最高一割八歩に付當組合員の價格も其範圍の率に値上販賣の廣告を訂正致候

京龍木材商組合

蠶具と桑苗

優良蠶種移入販賣 優良桑苗生産 豊富… 京釜線大田 東蠶社 長電百〇七 在庫品目錄呈

蠶繭高價買入

東京米穀商品取引所仲買人

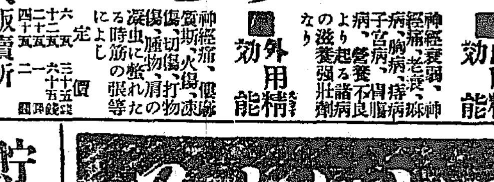
東京市日本橋區蠣殼町一ノ二

野瀬久次郎商店

電話浪花(五一二)五一三…二〇四、…

發信電報略號(シメ)又ハ(メ)
受信電報略號トウケイシメ
振替貯金…一二四一〇番

朝鮮總督府許可



■內用 精能 效 神經衰弱、神經痛、老衰、麻痺病、胸病、痔病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり

■外用 精能 效 神經痛、僂痲質斯、切傷、火傷、打撲傷、腫物、肩の凝り、時筋の張れ等によし

定價 六十五錢 二十五錢 四十五錢 … 一圓三十五錢 …

人蔘直取引大販賣所 人蔘エキス 滋養藥 朝鮮名產 一切 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八一〇番 振替京城三五二番

人蔘エキス 藥餡 製造本舖

支店 龍山元町二丁目 龍山支店 京釜線大邱驛前 大邱支店 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 釜山支店

本藥舖に御注文次第御依頼る事が最も安全且つ本店支店共市內は御一報次第配達致し…其他全道の藥舖に無之地方は直接本舖に御注文の方は代金は振替便利に候

二ほまれ味噌

天下一品

龍 醬油　譽 醬油

日本醬油株式會社 出張所 京城太平通二丁目 (電話二四五番)

內科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二〇九番

貯蓄預金

元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替口座京城八一〇番

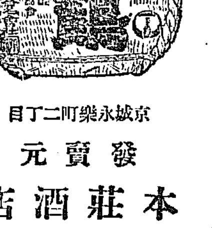
同 龍山出張所 龍山元町三丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後一二、〇五	二、四〇
新安州着	前七、五五	一一、〇五	後二、〇〇	四、三〇
新安州發	前九、一〇	後一二、二〇	二、四五	五、三〇
价川着	前一一、〇三	後二、二三	四、三七	七、二八

優等清酒



京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話京城六五四二六番

酒井婦人病院

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

入院隨意

電話二六〇〇八番

移轉廣告

弊店今般業務擴張の爲め左記へ移轉仕候に付此段謹告候也

仁川海岸町三丁目米豆取引所西側

㊐仲買店

電話 本宅用 六五 店用 八三二・九〇五番 變更

明君道中記

第三十八席 田邊南龍口演

抑も柳生家は延喜の帝に仕へました菅原の道實公の御子原田丸の末裔にして原田又左衛門と云ひ上州箕輪の上泉伊勢守の門人四天王といふが神宮伊豆、丸目藏人、疋田文五郎、原田又左衛門である、又左衛門は姓を柳生と改め徳川家に仕へた處、慶元の戰起り元和元年五月七日大阪落城の際茶臼山御本陣にて家康公が御覧になると、大阪城内に火焔立上つてすさまじき有樣『家、誰かある城内へ參つて孫の千姫を助け出せ、助けたる者へは姫を取らせる』と仰せの時坂崎出羽守が『畏り奉る』と其儘城内へ參つて千姫君を救ひ出し、御本陣へ伴れて參り『此の上は拙者未だ無妻でござりまする故千姫君を給はりたく』と願つた處肝腎の千姫君が出羽守を嫌つて承引いたしません、秀頼公へ操を立て生涯獨身で居れば宜かつたが、千姫君は其後本多美濃守忠時の方へ嫁しましたから坂崎出羽守は憤然と怒り、木挽町五丁目の上屋敷を引拂つて大和の正木坂へ頼籠りました、已に大事にならんとした時に柳生又左衛門が正木坂へ參つて出羽守を討取つて事を穩便に治めました、此の功によつて正木坂を給はり一萬石を下し置かれた、又左衛門は但馬守宗矩と任官いたして倅の飛驒守宗冬に家督を讓つて其の身は隱居いたしました、左れば此の飛驒守が父の跡を襲で西丸大納言殿へ劍道教授をいたしたものでございます西丸殿も後には柳生流劍術の奥儀を極められ極意皆傳を得られました、又御相手として小野次郎右衛門忠成と云ふ方が教授をいたす借家光公は元和の九年三月右近衞大將を兼ね其年の五月二代秀忠公上洛と同じく六月家光公上洛をなされて内大臣に任せられ從二位に叙し徳川三代の御世を襲れて征夷大將軍となり同年九月江戸に歸り其の年十二月鷹司關白藤原信房卿の息女を娶り西丸より本丸へお移りなされ秀忠公は西丸へ移られ大御所公と申し上げる、秀忠公の第五の姫君和子姫は慶長十九年四月入内の宣下あり元和六年五月八日江戸を發し同月廿九日に入洛、六月十八日女御に立ち元和九年十二月九日姫宮御降誕是を興子内親王と申し上げ人皇百九代の帝明正天皇の皇后と成らせられました、次で御降誕遊ばされたが上野宮一品法親王と申し奉る和子姫は寛永元年十一月廿八日女御より中宮に立ち國母と稱し奉る、寛永六年十一月九日皇太后東福院と稱し奉る、此の御上洛に相成りました、お話しは後へ戻り此の和子姫が京都へ御入内になるに就き關東の御係り役人は老中酒井雅樂守でありました、和子姫の御手元文庫といふ物が八個ございます、種々お手道具を入れますもので此に用ゐる吊が八枚無ければならんので備後守侯が考へて『備『幸ひ八枚であるが白綸子へ近江八景を描かしたら宜らう』宮『左樣にございます、白綸子に墨畫で八景を描きましたならば立派でございませう』備『然るべき畫工を選べ』と是より名ある畫工を選んで八景を描せましたが、近江八景は石山の月、唐崎の松、三井の晩鐘、矢走の歸帆、瀬田の夕照、粟津の晴嵐、比良の暮雪、片田の落雁でございますが、七景は出來いたしましたが粟津の晴嵐を描く者がございませんから、備後守も困つて居ると家臣『旗下の近藤登之助は畫號を五石と申しまして畫を能くいたします由、此の者へ仰付けられては如何』備『始めて承はつたが登之助は荒くしき奴じやが畫を描くとは感心いたす、早々屋敷へ召せ』と茲で使者を以て近藤登之助をお招きになりました

內科 小兒科
院長 醫學士 森定吉
京城本町三丁目 五期會社向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

婦人科 產科
京城壽町四一
醫學士 二宮亮吉
二宮醫院 電話二二〇一番

齒科診療
往診 (市內に限り)(往診無料) 正午迄
自宅 正午より午後九時迄
京城南山町三丁目一番地
齒科醫 楢崎東陽 電話一二六〇番

一月二十五日九星
舊正月三日 丁卯
本命 一白 北 滿 先負

▲一白● 不快活の事ある日 新事見合西方は吉 [illegible] ▲二黑● 約束のお流となる事ある日 新事手控 [illegible] ▲三碧● 錦上花を添へるの日 [illegible] ▲四綠● [illegible] ▲五黃● 片行釣なる事有日 [illegible] ▲六白● 心行よき日 [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● 物の危險を意味する日 新事 手控 [illegible]

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
京城日報社 寫眞製版部

〈演藝案内〉

京城壽町 電話五七八番 壽座
廿二日千秋樂芝居 一番目 御所櫻堀川夜討 大序より上使迄 二番目 太功記十段目 (武智光秀…) 大切 三十三所壺坂寺 [illegible]

御成町 電話一九一 御成座
第十九回…『二人妻』全八場 [illegible]

京城壽町 電話一〇五〇 壽館
●獨流浪花節教育的讀物 ▲明烏十勇士(原辰男) ▲一休和尚(吉川辰美) ▲旅順の花 ▲水府公(長講二席原晴風) ▲赤穗城明渡し ▲大和名劍譽刀(長講二席原晴夢)

本町五丁目 稻荷座
▲浪界の北斗竹川馬生一行 [illegible]

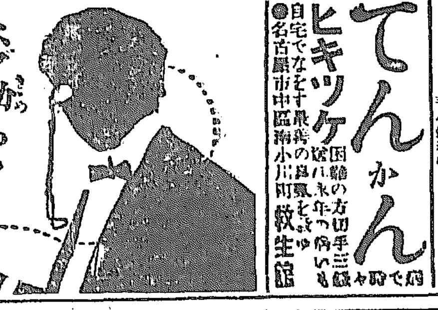
明治町 電話二六〇 浪花館
▲東京落語柳連雷門助六一行 [illegible]

櫻井町 電話八七三 大正館
一月二十日より提供の新寫眞 [illegible]

早川直營 電話二六三七 黃金館
[illegible]

廣告

流經新藥 レスノリン
月經 流經 [illegible]
發行所 常盤藥院



特長 ○最新高貴藥を配伍す。○裝瓶は嚴重に殺菌消毒す。○効驗は迅速偉大なり。
主効 ○外の眼藥で効なき人試よ。○トラホーム ○やにめ ○はやりめ ○うみめ ○かすみめ ○めくさ ○其他眼病諸症に効あり。
新式點眼器付十錢、廿錢、[illegible]
全國各藥店に取次
本舗 大阪 東京 丹平商會藥房

再診療開始
昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ヶ月間再び診療を開始す
痔核。痔瘻。脫肛
直腸脫。痔出血。裂痔
京城長谷川町安東病院 (電七三)內出張
肛門病注射專門
院長 久枝秀喜
最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

質
京城黃金町二丁目 (永樂町停留所北入)
堀佐營業所 電話六三九番

男女のひみつ ―はこ
○○○障害である [illegible]
▲遺精早漏の人
▲夢精過漏の人
▲勃起衰弱の人
▲陰莖萎縮の人
▲神經衰弱の人
ヒステリー症の人
▲手淫過房より起る
[illegible]

てんかん
ヒキツケ [illegible]
●自宅でなをす [illegible]
名古屋市中區南小川町 救生館

學者の創製したる

美顏ユーマー

愛用者の寄書 (つゞき)

(其十七) 鹿兒島 稻さなゑ

仲善の美知樣から、歸省土産に戴いた美顏ユーマー、今思ひ出しても嬉しい、いつ見ても活々さした色艶、どんなことをしたらあんなに美くしくなれるのかと、羨やましく思つてゐた私にそれと察して下さつた美知樣のお心ざし、ユーマーを使ふことに有がたく思ひ出す。今まで沈みがちであつた私が急に晴れやかになつた、といつて母も喜ばれる。これもユーマーと美知樣のおかげと、感謝してユーマー御存じない方におすゝめしてゐる。

(其十八) 大阪 秋野澄子

お琴の大ざらへに白粉屋さんに濃化粧をして貰ひました時あまり美しくつきましたので「お孃樣は學校出さんにはめづらしい程肌がよくとゝのつてゐます」つて申しました。それは私が母のすゝめで在學中から、朝使へば一日中、顏色を活々こ美しく保ち、そして皮膚を柔かに滑かにし、色を白くする作用のある美顏ユーマーをかゝさず使つてをつたおかげです。之はつけても目にたゝずして、美顏の目的を達することが出來ますから、私の一家は母をはじめ幼稚園に通つてゐる小さい妹迄ユーマーを愛用してゐるのでございます。

右は先頃有力なる婦人雜誌上にて、美顏ユーマー愛用の方々に對し、ユーマーに就ての經驗又は感想をお尋ね申上げた時寄せられた、非常に多數のお答の中のものであります。愛用者の實際の御經驗を澤山に伺ひ得た事は、本舗の喜ばしさに堪へぬ所でございます。

大阪 桃谷順天館 東京

汽車時刻
[illegible]

第三版

京城日報

一月廿四日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六十錢　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　合資會社　京城日報社　京城太平通一丁目
電話　[illegible]

（一月二十三日）[illegible]
一月限　[illegible]
二月限　[illegible]
三月限　[illegible]
高値　一五、三三　一六、三三　一六、五三
安値　一五、三〇　一六、二七　一六、四六
大阪　[illegible]
二八五、九〇
三〇二〇、一〇

▲更に動かず　大阪の期米は[illegible]

[illegible]

二十三日の三月　十三圓〆九錢　十三圓十錢

二月限　一萬石
三月限　五萬四千六百五十石
四月限　七萬六千三百五十石

歐洲大戰と興亞策（二）

羅馬尼の覆轍

昔し歐陽修、五代史を修め、邦國存亡の理を討ね、嘆じて曰く、嗚呼盛衰の理、天命と曰ふと雖も、豈に人事にあらずやと。吾人は歐洲大戰に於て日夕接手する所の飛電を閲し、交戰國に於ける小國弱邦の盛衰存亡、奕棋に似たる光景を目擊し、轉た其感を深うせずんばあらず。

然れども、國際競爭の劇烈を極むる今日に於て、小國弱邦の存在を容さゞるは、世界の大勢也。否小國弱邦が命を世界の大勢に聽かざるを得ざるは、歐洲大戰の吾人に與へたる教訓の一也。看よ巴爾幹戰爭に於て武名を輝かしたる塞耳維は、露國に頼て獨墺に抗し、其の社稷を擧て楚人の一炬に付したるに非ずや。黑山も亦塞耳維と共に獨墺に抗し、國亡びて山河在りてふ光景を演じつゝあるにあらずや。最後に蹶起して獨墺に抗したる羅馬尼が、開戰後二箇月を出でざるに、其の首都ブカレストは敵騎の屠る所と爲り、今や僅にモルダヴキヤの一角に據りて聯合軍の來援を待ちつゝあるにあらずや。

羅馬尼の歷史を案ずるに、較近まで土耳其に朝貢したるワラキヤ、モルダヴキヤの二州が、獨立運動に失敗したるより一轉して合併運動を開始し一八五九年アレキサンドル一世を擁立し、羅馬尼公と稱し、一八六一年、土帝に逼りて其の承認を得たるを以て新建國の濫觴とす。其後アレキサンドル一世の失脚するや、一八六六年獨逸皇家「ホーヘンツオルレン」家の王子カロールを迎へて其の後嗣と爲す。是れ乃ち昨年十月殂落したる羅馬尼王なりし也。カロール即位後十年にして露土戰爭起り、露軍に參加して土耳其に抗し、伯林條約に由りて始めて獨立國と爲り、一八八一年王國を宣言して、カロール一世と稱したる歷史より推論するもカロール王は羅馬尼王國の開祖たり。而して羅馬尼現王はカロール一世の兄、獨逸皇家のレオポルド公の子にして其妃は獨逸「サックスブルグ」家の出也。

世人若し墺匈の地圖を披かば、其最東端に突出したるトランシバニア、ヴコヴキナの二州こそ、純乎たる羅馬尼民族の充滿したる地方なるを見せん。但たトランシバニヤの一部は匈加利に傾斜せる地形の關係上墺國の主張として一理なきに非ざるべしと雖も、其の一半は皆羅馬尼に面するのみならず、ヴコヴキナの如きは、墺國主張の天然地形を無視するを立證するに足るべし。羅馬尼人が該地方を熱望し、獨墺軍が露軍と苦戰を極め、其他を顧るに遑あらざる虛に乘じ、全國蹶起するに至りたるも亦た其故なきにあらず。

夫れ羅馬尼は、巴爾幹諸邦中の大國にして、其の面積は塞耳維に三倍し我が朝鮮に半し、其の人口は塞耳維に倍する邦國に非ずや。歲入は二億萬圓に近く、內軍事費は三千萬圓に達し、其の戰時兵力は五個軍團を編成し得べく、兵員三十萬、大砲七百門を有する邦國に非ずや。農工業の發達、鐵道の完備、船運の自由、半島に冠絕し、巴爾幹の白耳義と稱せられたる邦國にあらずや。而かも一旦露軍に頼りて獨墺に抗するや、其の堅甲利兵恃む可からず、千里の沃野、空しく馬蹄の蹂躪する所と爲り、盛衰倏忽地を易へ、塞黑亡國の覆轍を踏むに至りたる所以のものは何ぞや。吾人は國際競爭の現勢を察し、羅馬尼亡國の狀を目擊し、翼然として寒からざるに肌粟を生ずるを覺わずんばあらず。羅馬尼の覆轍は豈に我が東亞民族の宜しく殷鑑とせざる可からざる所にあらずや。

佛國の決意

獨逸を屈伏せしめずんば已まず

▲佛國對戰決意　甚だ強硬なるものあり當初、大亂の勃發するや完全なる準備をなされたる獨逸の戰鬪力は猛然として佛國に侵入し不用意なる佛國の兵力を以てしては到底之れに支ふると困難と見ゐたるも佛國朝野の對獨結束意外に强硬にして間もなく頽勢を挽回して優勢となり、漸次獨軍を國外に驅逐しつゝあり、而して今日の狀勢にては佛國は先づ獨逸と同一の勢力に在るものと見るべく容易く巴里を陷落せしめらるゝが如きことなかるべし殊に最近佛國の決心は斷じて獨逸を屈伏せしめずんば止まざるべしといふに在るを以て此の戰局は到底佛國の有利なる條件の下に講和せられずんば終熄せざるべし

▲武器彈藥充實　獨逸がヴエルダンの强攻を試みドーモン、ヴオーの第一第二の主要な塞が危急に瀕したるは全く佛軍の武器彈藥が充實し居らざりし爲なり獨逸皇太子軍が死力を盡して此の攻擊に從ひたる時佛國防禦軍司令官ガリニユ將軍は全國の自動車二萬臺に兵十萬を搭乘せしめて獨軍の左翼を擊破したるが故に獨軍の策戰に齟齬を生ぜしめヴエルダンを危うく救ふを得たるも當時は殆どヴエルダンが陷落するものと想像され佛國人心に大恐慌を來さしめ居たるに此のガリニエ將軍の奇襲が成功したるは佛國人自體も大に不思議となし居る程なり爾來佛國に於ては鋭意彈藥の充實に努力し各都市の工場を督したる結果今日に於ては彈藥は非常に豐富となるに到れり

▲獨將の佛將評　此の戰ひに於けるガリニエ將軍の行動は實に無謀極まるものにして本來防禦を主として設備せる二萬臺の自動車を首將ジョッフル將軍には何等の相談もなく全く獨斷にて使用し而も斯くの如き行動をなしたるは佛國の陸軍首腦をして全く意外の感を抱かしめたる所なるが當時獨逸の精鋭を提げてヴエルダン攻擊に從事し居たる獨逸の首將クロック將軍は亂暴なるは獨逸將軍とのみ心得たるに佛蘭西にも斯の如き將軍ありたるは寧ろ獨逸の意外とする所なりと讚嘆せしめたる程なりといふ

▲十八年兵徵集　予の出發當時は佛蘭西に於ては千九百十八年兵の徵募をなさんとしつゝありき即ち本年十九歲の青年なるが後備兵は既に四十八歲まで徵集し之等の軍人は何れも新式の訓練を施されつゝあり元來今回の戰鬪は主として平野戰塹壕戰なるが故に容易に捗取らず殊に獨逸の戰術著しく進步して容易に聯合軍の接近を許さゞる爲め多大の犧牲を拂ふも效果之に伴はず聯合軍首腦に於ても種々攻究したる結果獨軍の一塹壕を略取せばそれと同一の塹壕を戰地附近に作り以て新兵をして之れを攻略せしむる演習をなしたる後初めて出征せしむることとなし居れり而して之れが教育はソンム戰の名將ペタン將軍專らその任に當り居れり

▲我義勇兵不評　我飛行家として目下佛蘭西に在りて活動し居れるものは滋野男爵、磯部少佐外一名なり是れ等は何れも成績良好にして就中滋野男爵は再三殊勳を立て叙勳されたり、然しながら彼等にニウカレドニアより輸入されたる我義勇兵は言語不通に加ふるに態度傲慢にして里昂に於て訓練中成績甚だ不良なりしに加へて給與問題に就き當局と意見の衝突を來し在留邦人も日本の名譽を毀損するものなりと批難しつゝありし際日本に送還することゝなりたるものにて目下我義勇兵は頗る不評判なり

▲戰爭終熄觀測　何人も戰爭は何時まで繼續さるゝものなるや斷言することは能はざれども巴里に於て想像さるゝ所に依れば尙一二ケ年は持續さるべしとのことなり尤も最近講和問題が獨逸の提議に依りて論議されつゝあるも遂に到底モノになるべしとも思はれず獨逸は內政の醜體暴露し陸相內相等の辭職更迭ありて單獨講和をもなし兼ねまじき形勢に在りたるも最近在朝當局よりも國民の意志牢乎たるものあれば決して獨逸と和を結ぶが如きことなかるべしと察せらる（佛國駐劄代理大使川付七太氏談）

北京より

參衆兩院議員は十九日衆議院に於て憲法大會を開き審議長王正廷より議會開會以來今日迄に了せる憲法問題の成績を報告せり其大要左の如し

昨年九月二十二日第一次會を開きてより今日迄審議會を開く事二十四回に及び其間に討論審議を經し事項は草案具有の議案十四題にして內成立せるもの八題刪除せるもの一題無結果に終りしもの五題草案未有の議案九題にして內成立せるもの四題無結果五題なり此項に屬する成立議案は（一）主權（二）查辨權（三）地方制度（四）憲法保障等にして審議會に於ては單に其大體を認めしに過ぎず詳細は憲法起草委員會に附して起草せしめ向後更に討論を要すべきものなるも（甲）に屬する成立議案（一）國土問題（二）人民の自由權（三）參議院の組織（四）國務員の不信任（五）國務總理の議會同意（六）行政訴訟（七）財政緊急處分（八）兩院制等は草案も一併して審議會の表決を經たる者なれば討論の餘地を有せず其討論を要すべき議案は向後此れを二讀會に附し倘向後毎週に三次憲法會議を開きて憲法成立を速かならしむる事に決したり尙各項の討論を經て提出議案大體の經過左の如し

▲草案所有の問題●●●●●●　（一）國土　原案は規定を概括せるものにて規定を列舉すべしと說く者ありしも原案の儘通過す（二）人民の自由權　原案は制限的のものにして不制限說出でしも原案の儘通過す（三）孔道の修身大本案　刪除論者と原案贊成者と何れも法定數に滿たず無結果となる（四）兩院制問題　一院制論者出でしも原案の儘通過す（五）參議院の組織　[illegible]（六）[illegible]表決の結果贊否何れも法定數に滿たず（七）國務員の不信任　表決の結果原案の儘通過す（八）國務員委員會問題　表決の結果反對者三分の二以上にて否決さる（九）緊急勅令　表決の結果贊否法定數に滿たず（十）衆議院の解散問題　不規定解散論者と規定解散論者と參議院の三分の二以上の贊成を得べし等の論者ありしも表決の結果何れも法定數に滿たず無結果に終る（十一）國務總理同意案　國務員全體同意を經べしとの論者と同意を不必要とするものありしも表決の結果原案の儘通過す（十二）行政訴訟平政院不必要論者ありしも原案の儘通過す（十三）財政緊急處分　刪除論者ありしも原案の儘通過す（十四）審計院の組織　院長は參議院より選出し審計員は院長より呈請すとの論者と審計員は參議院の同意を得て大總統より任命すべしとの論者ありしも表決の結果何れも法定數に不滿

▲草案末有の議案●●●●●●　（一）主權の增加案　表決の結果加入論者多數にて通過す（二）教育の增加案　加入反對者三分の二以上にて否決さる（三）國防の增定案　表決の結果反對者三分の二以上にて否決さる（四）神聖增加案　表決の結果憲法修正章中に一重保障條文を加ふる事にして加入論通過す（五）陸海軍の一章を增加するの案　表決の結果大多數にて否決さる（六）法官任免の增定案　贊否法定數に滿たず（七）國會の查辨權增加案多數に、增加に贊成（八）增定國教問題　無記名投票の結果贊否何れも法定數に滿たず無結果（九）[illegible]制案　表決に際し各派主張一致せず投票を行ふ五回にして尙結果を得ず遂に原案十六條を附して表決し漸く通過を見たり

外蒙古の財政

露國債已に三千萬留に達す

外蒙古の領域內は本來極めて貧窮にして前淸時代には其全行政費を支那政府に仰ぎしが支那第一次革命の際即ち辛亥の冬活佛哲布尊は外は露人の鼓舞を受け內は親露黨の挾制する所となりて遂に支那に背きて獨立し盛んに軍備及び行政の諸機關を添設せしも經費の出所無き爲め悉く之を露債によりて支辨し而かも財源の見るべきもの無き結果露債償還の途無く唯借款に次ぐに借款を以てし近くは車臣汗南部の金鑛を擔保として又復た三百萬元の借款を訂したりとの報ありと雖も露國にては歐洲戰開始以來國費多端にて外蒙に貸與すべき資力無きが故に外蒙の借款は凡て腐爛せる留紙幣のみにて支給せられつゝある有樣なり今外蒙が民國元年より昨年十二月に至るまでに露國より借り入れたる借款金額を表示すれば左の如し

民國元年一月	三百萬ルーブル
同　年三月	二百萬ルーブル
同　年十月	五百萬ルーブル
民國二年五月	五百萬ルーブル
民國三年八月	二百萬ルーブル
民國四年二月	百　萬ルーブル
同　年六月	四百萬ルーブル
民國五年一月	三百萬ルーブル
同　年十二月	三千萬ルーブル
合計	

右の如き有樣なれば外蒙境內は上は都邑より下は窮鄉僻陬に至るまで何れもルーブル紙幣を通貨として使用し居れるが露國も最早擔保として著目するに足るものゝ無きに至りし爲め今や外蒙政府の要求に隨ひて其の借款に應ずるを嫌忌する風あり結局露亞銀行をして特種の紙幣を印刷せしめ一面には露文を刷出し一面には蒙文を現はして外蒙內に通用せしめては如何との提案を爲し外蒙政府の同意を得たるにより遠からず之を發行するに至るべしと（奉天）

讓與及租借地

前淸以來支那が外國に讓與し若くは租貸したる地域左の如し

香港九龍	四百方哩	英國に租借
澳門	十一萬方哩	葡國に讓與
臺灣	一萬三千五百五十二方哩	日本に讓與
旅順大連	千三百七十八方哩	先づ露國に租借し後日本に移歸す
威海衛	二百八十五方哩	英國に租借
廣州灣	三百二十五方哩	佛國に租借
緬甸	十萬六千四百方哩	英國に讓與
青島	哩數未詳	先づ獨逸に租し後日本に歸す
安南	一萬五千二百方哩	佛國に讓與
庫倫	哩數未詳	外蒙政府に讓與

右は支那國務院より全國各地に頒送せんとする支那已失疆土表の概要なるが其中には我琉球及び朝鮮をも支那領土の喪失したる一部として記述されあり餘りに滑稽なれば之れを省略せり

日報詩壇

〇寄退官歸鄉某士十首　高田　小芥

昨日官袍換褐衣。寥寥盛句故園蹤。自
今眼界煙波濶。笑把漁竿上釣磯。
一丘一壑在胸中。不要青山容嫉閑。
洛天恩茅屋睡。小春夢暖夕陽烘。
導我仙鄉鶴作媒。機心曾被海鷗猜。
人欲說山中好。頭上黃塵先拂來。
家國興亡自歷然。誰將史眼照青篇。
今幸得消閑友。品古英雄許聖賢。
故園繼在舊知留。三徑雖荒聊遣愁。
下如迎接無力。霜風吹動菊花頭。
朝暮回頭韓地雲。家鄉寂寞夢離分。故
人凋落空畝士。悄向青山掃古墳。
功名富貴等浮雲。何望麒麟畫像勲。從
是鐵丹換刀筆。野人莫笑獻香芹。
行路吟鞭慵詠詩。浮生喚夢誰相悠。
悠五十年來事。惟有星星鬢雪知。
箱節何妨作假容。盤桓掃石撫孤松。誄
君頻有秋江在。笑被詩人誤老龍。
歸路嚴程識三。一堂嚴島二韓南。東
來靈水如沂沐。古色千秋石窟庵。

評曰　槐南先生曾辭官其作中、有一貧句、貴如殘夢、成就人間在一鳥黃卷外、棠川老漁歸詩曰、道在此齋主人當時又有句曰、鷗心地氣高作、神情如水、藻思如泉、超然脫俗、極得風人之旨、偶追懷往事茲記之云爾

公告

建築圖工及筆生試驗ノ上採用ス

志望者ハ一月二十七日午後一時筆墨携帶當部ニ出頭スベシ（製圖器ハ貸與ス）

大正六年一月廿三日

朝鮮駐剳軍經理部

生徒募集

入學出願期日　三月十五日マデ
入學試驗期日　三月二十七日、同二十八日、同二十九日
其ノ他詳細ハ本月ノ朝鮮總督府官報又ハ本校ニ就キ承合スベシ

京城專修學校

生徒募集

本年四月入學セシムベキ本校第一學年生徒約百名ヲ募集ス詳細ハ一月二十日以後五日間ノ朝鮮官報又ハ本校ニ就キテ承合スヘシ

大正六年一月

平壤中學校

山口縣人會

來る廿六日午後五時半より八阪樓に於て總會を兼ね新年宴會を開催す山口縣人は奮て御參會を乞ふ（在仁川在住山口縣人は來廿五日迄に左記に通知ありたし）（來否は）

會費金壹圓當日持參の事

申込所　仁川本町　四河野竹之助　本町　吉村谷吉藏、新町　中村嘉兵衛　本町　金喜三郎、海岸町　高杉昇

仁川　山口縣人會

新刊

朝鮮鑛業要覽　一部定價一圓廿錢
附圖　朝鮮地質鑛產圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

書名	著者	定價
安心生活	椎尾辨匡	一、二〇
大英國の表裏	早川德次	八〇
一兵卒の銃殺	田山花袋	一、〇〇
本朝名家詩文	岡田正之	一、五〇
クオレ物語	宇野浩二	一、〇〇
新井白石	上田萬年	一、二〇
大山元帥	西村文則	一、二〇
新書道の研究	上木村剛石	八五
死者生者	白鳥作	九五
實用書翰文	書翰文研究	六〇
處世訓話「餅」	和田垣博士	三五
朝鮮六法全書	巖松堂	一、八〇
民事訴訟法判決實例	同	三、〇〇
牛	岡本米藏	一、〇〇
朝鮮鑛業要覽	鑛業研究	一、二〇
高等文官受驗提要	巖松堂	四五

巖松堂　京城店　古本部　仁川店
京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城二四五四番

家庭雜誌

三都婦人くらべ
▲主婦として見たる東京の婦人…嘉悦孝子
▲世帶持の好い京都の婦人…川名庄吉
▲世話女房としての大阪の婦人…林歌子

山國の婦人と海國の婦人
▲山國の婦人の長所と短所…秀孜子
▲風變りの鹿兒島の家庭と主婦…伊敷つね子

關東と關西の婦人
▲精限り根限り働く關東の婦人…大多和竹子
▲自然の壓迫と鬪ふ東北の婦人…前田時代子
▲萬事に拔目のない中國婦人…杉浦たつ子
▲質朴で能く稼ぐ山陰道の婦人…片桐正雄

諸國人情號

夕潮（家庭小說）（第五回）長田幹彦
▲現代生活と和洋折衷…井深梶子
▲實行出來る家庭の改良…山脇法學博士
▲世間並に子を育てるな…左近教授

故鄉と人間
▲家庭と科學（味噌の話）…醫學理學士
▲大名華族の暮し向…（松平康莊侯）
▲世帶の持ち方（社會百生活の研究）小田內早稻田大學講師
▲私の髮結となった決心…宮木技師夫人
▲僞易者…（童話）高木文學士
▲柳の精…（傳奇小說）城西隠史

春の訪れ（家事小說）（第二回）手塚かね子

二月號　定價二十錢　郵稅一錢半
東京本町　博文館

娛樂世界

講談落語の親玉
□三保松原　天人娘　猫遊軒伯知
□落語　だいこく　柳家小さん
□陰陽形分小柄　早川貞水
□仁王太郎兩雄力競べ　桃川如燕
□貞婦の仇討　桃川若燕
□落語　死神　三遊亭金馬
□仙石騷動軍鷄籠破り　錦城齋典山
□石井明道士龜山の仇討　神田松鯉
□寫眞小說　乙女椿　秋濤作　紫雲譚
□勤王志士島主水　旭堂南陵
□探偵實話混血兒の市　田村西男
□天狗小僧霧太郎　悟道軒圓玉
□吉原の怪談　京魚
□藝者か華魁か　春の家扇來
□三都の藝者　鶯居
□鐵道ローマンス　阿彌笠
□活辯大恐慌　閑太郎
□すゐしや鍋　鬼太郎
□抄曾我物語　迎月
□亭主殺し巳年の女　吉彌生
□謬られ興行法　飴ン坊
□萎める花井お梅　春霞
□九州の演藝界　杵男
□霜夜の廓
□西洋活動寫眞譚　讀者奇譚俱樂部　志佳
大懸賞募集

二月號　價廿五錢　郵稅二錢
振替東京三三八四　東京日本橋スキヤ町四番　娛樂世界社

小兒齒科　口腔衛生科　齒列矯正科
京城府龍山榮町
龍山齒科醫院
電話五五五番

最新　英語講義錄

大正六年は　活躍の年　發展の年　愈々英語が必要

創立以來十年の久しき經驗により英語通信教授として進步の極致に達す

大日本國民英語學會
東京麴町區富士見町六丁目　振替東京三四〇七

詳細內容見本附　會則進呈（端書にて申込あれ）

第卅八回帝國議會

貴族院(二十三日)

貴族院は二十三日午前十時より開會之より先き豫て登院の噂ありし大隈侯は新勅選議員高橋作衞氏に逢かれ著席す德川議長は開會を宣し書記官をして諸般の報告を爲さしめ子爵議員黑田和志氏の薨去に就き本院より弔詞を贈るべしと諮り滿場異議なく可決次で議長は寺内總理大臣を麾くや首相登壇施政方針に關し別項の訓讀演說を爲し終つて本野外相登壇明快なる語調を以て別項の外交演說を爲し降壇するや石井前外相は唯今本野外相の演說中一點聞き捨て難き事あり是れ國家の重大問題なり外相は前内閣は支那一部の政黨に干涉を加へたる如く述べられたり余は當時の當局として是を默過する能はず願はくば明確なる答辯を望む而して答辯前に余は然る事實の無き事を斷言する者なりと述べ是に對し本野外相は石井子の質問の如き事を述べたる事は斷じて無く余も亦其の事實無き事を信ずる者なりと答へ此時議長は議事の都合にて一旦休憩する旨を宣す時に午前十一時午後十二時十分再開直に日程に入り議長は政府の提出に係る阿片法中改正法律案を附議する旨を述べ後藤内相簡單に提案理由を說明し委員附託となる次で銃砲火藥取締法中改正法律案を附議するや之れ亦後藤内相の說明ありて委員附託罹災救助基金法中改正法律案は勝田藏相の說明ありて同じく委員附託と爲る此の時黑田侯發言を求め日程追加の動議を提出し聯合國慰問に對する決議を說明し滿場異議なく之れを可決同五十分閉會せり(東京特電)

▲首相施政演說

寺内首相の貴族院に於ける施政方針演說大要左の如し

(前略)歐洲の大戰三歲に亙りて干戈未だ戢まらざるは世界平和の爲め最も遺憾とする所なり而して武器の戰爭は早晚終熄するの日あるべきも之に續いて經濟の戰爭到來す可きは巴里に於ける聯合各國經濟會議の結果に依りて前途の趨勢を逆睹するに難からず政府既に加

▲外相外交演說

貴族院に於ける本野外相の外交演說概要左の如し

(前略)歐洲大戰表面の原因は墺匈國が塞國に對し國家として承諾し難き無理の要求を提出せしにありされど其眞因は世界の霸權を握らむとする獨逸の野心にして獨逸は之を遂する爲め久しき準備を重ね遠大の慾望を有し千八百九十八年に靑島に手を付けし如き明かに**將來支那を占領するの素地を造れるものなること最も明白なり**獨逸が汎獨逸主義の鼓吹に努めしこと軍備の充實に汲々せることは世人の熟知する所なるが大正三年夏獨逸は其野心を滿足せしむる好期到來せるものと考へ開戰後數月にして敵は其抵抗力を與ふものと信じたり然るに獨逸の目算は全く外れ開戰後二年半を經過せる今日此戰爭を繼續せざるべからざる狀態に陷りつゝあり(中略)始め帝國は同盟條約の義務を重んじ英國よりの申出と共に援助に赴き其義務を果したり我陸海軍は數日にして極東の獨逸の武力を全滅し支那に於ける獨逸の活動の根據地を破壞し東洋の安寧と其秩序とを保障するに至れり又帝國は英國と協力して太平洋及び印度に於ける獨逸の海軍を擊破し太平洋及び印度洋をして獨逸の暴行を免れしめたり帝國が人道に貢獻せる功績は文明諸國に於て必ず承認せるは疑ひなき所なり帝國は獨逸に對し戰ひを宣し又大正三年九月五日倫敦宣言に加入せるは單に帝國の利益を保護する爲めのみならず聯合諸國の利益人類全體の利益を保護する爲めなり此の慘虐なる戰爭に於て正義と權利とを勝たしめ戰後世界をして眞正なる平和の幸福を受けしめざるべからず(中略)**獨逸の提議を拒絕せる理由は米國政府を通じて敵國政府に送りし同盟國協同覺書に明瞭なり**帝國政府は他の同盟國政府と同じく敵國政府の主張を容認し難く**講和談判の時機は未だ到達せずと認めたり**昨年十二月二十一日政府が受け取りし米國政府の通牒に對する回答に就きては同盟諸國政府は米國政府の誠意は充分之を諒とするも米國政府の表白せる平和の希望には應ずる能はざりし其理由は回答中に襖述するところの如し(中略)日本は支那に對し好意を以て盡力するに拘らず支那は往々猜疑の目を以て日本を見日本に對し惡感を抱くが如きは何故ぞや**其大原因は支那の内部政爭の渦中に投ぜんとする傾向あり**滿朝沒落し共和建設以來支那に多數の政黨を生じ日本に於ても或者は一黨派に或者は他黨派に同情を表し各々其政見若しくは個人的關係により其の好む所に援助を與へ政權を掌握せしめんとせりこは勿論誠意に出でたるものなりと雖も其結果は甚だ宜しからず(中略)帝國政府は支那に於ける或黨派に特に加勢する意思を有せざる事を斷言す政府は支那當局者と親善關係を有せんと欲す(下略)

衆議院(二十三日)

衆議院は二十三日午後一時開會、風雲急ならんとして議場も傍聽席も活氣橫溢す先づ新議員の紹介及諸般の報告あり日程を變更して時局聯合國へ慰問使派遣に關する決議案を附議し武富時敏氏(憲政)の簡單なる說明あり滿場起立を以て同案を可決し次で

▽**寺内首相** 登壇午前貴族院に於てなせると同樣なる演說を試むるや嘲罵の聲續き起り議長の制止にて辛くも靜肅に歸り首相に代つて

▽**勝田藏相** 登壇し大正六年度豫算案に就て數字を擧げて說明をなし次に

▽**本野外相** 登壇貴族院に於けると同一の外交演說をなせり演說進んで對支外交の一端に及ぶや政友會は之れに拍手聲援し憲政會は之れを嘲し一時は怒聲罵聲交も起り議場喧囂を極む

▲質問戰開始

本野外相の演說終はるや議場は質問通告順にて議長は片岡直溫氏(憲政)を麾く

▽**片岡氏登壇** 予は首相の演說に質問を試み次で外相の演說に及ばんとすと冒頭し我國に憲法實施以來二十七年議會を開くこと三十八回に及び朝野共に憲政の運用に相當の經驗を積めり然るに今や國民と沒交涉の超然内閣出現せり而して首相は誠心誠意を以て國政整理の任に當るべしと聲明せらるゝも其の閣僚中には甚だ感心し難き人物ありの人は曾て吾々同志と共に政黨を基礎とせざれば憲法の運用を全うする能はずとて各地に之を鼓吹したる人なり然るに今や政黨を基礎とせざる超然内閣の閣員たり變節何んぞ甚だしきや又**後藤内相を顧みれば**更に昨年八九月の頃蒙古に於ける宗社黨云々山東省に於ける革命黨云々の秘密出版物を爲せり之れ我國に不利にして支那に有利なるものなり而して其の編者の重なるものは後藤内相なりと聞く(此の時賣國奴と罵るものあり)寺内首相は斯の如き人物を閣員として尙誠心誠意の實を擧ぐるを得るやと質し次で鋒先を外相に轉じ外相は日本政府が支那の内政に關係し且支那政黨に一般援助を與へたりと述べられ貴族院に於ける石井子爵の質問に對しては政府に非ずと答へられたるが然らば國民有志が之を爲したるものなりや否やと問ひ降壇す

▽**寺内首相** は更に登壇し下院に在る諸君が現内閣に反對するが故に國民全體も反對なりとは信ずる能はず諸君が眞に國家の爲めを誠意あらば政府の施設計畫は實行せらるべし又秘密出版に就ては政府は一切與り知らずと答へ次で

▽**本野外相** も亦登壇し予の演說を充分に御聽取りあらんには其の意味明瞭となる筈なり予は充分の材料を有すると雖爰に之れを明言するは國家の不利益なりと信ず故に斯かる事は相互に言はざるに如かずと述ぶ次で

▽**小川平吉氏**(政友) 登壇し對支外交に關し種々な疑問多きは前内閣の採れる方針明かならざればなり彼の對支警告以來日本の位置が非常に困難となれり若し公會の席上之れを聞く能はずば秘密會と爲すも可なり何に原因して斯くの如き結果を招來したるかを外相より聞かんと欲す道途傳ふる所に依れば前内閣は最初袁の退位を勸告し一方革命黨を助け其の事の行はれざるや又宗社黨を助けたりと結び降壇

▽**寺内首相** 前の答辯を補足する爲め三度登壇し議會に多數を保有するに非ざれば内閣を組織する能はざる筈なしと言へるのみ院議を重んぜざる者の如く受け取られざらん事を一言し置くと述べて降壇する

▽**本野外相** も亦登壇し前内閣の外交が不當なりしや否やは我が立場として明言する事能はず只予の在任中は予の方針を信じて協贊せられん事を望むと述べ終るや

▽**尾崎行雄氏**(憲政) は自席より議會の多數は國民の多數に非ず現在の衆議院は國論を代表し居らずと首相は斷定せられたりや如何と質し**寺内首相**は只今の言葉の間違ひなりしを以て正誤したるなり只多數黨を與黨とせざれば内閣組織は不可能に非ずと言へりとて席に復するや**尾崎氏**は猶要領を得ずとて反復質問し更らに外相に對し秘密會の要なきを以て此の席に於て充分說明ありたしと述べたるに**本野外相**は秘密會たらざれば充分の說明を爲す能はざるに依り秘密會とせられたしと答へ**四時十分秘密會となる**五時五十分再開會議長は直ちに閉會を宣し紛擾裡に閉會せり(東京特電)

●不信任案三派交涉

憲政、國民並に公正會有志より提出すべき政府不信任案は三派交涉の結果左の如く決定二十三日各派代議士會に報告し其承認を求めたるを以て同日提出の運びに至れり(東京特電)

決議

衆議院は現内閣を信任せず右決議す

理由

現内閣は國民輿論の府たる帝國議會に基礎を有せず舉國一致を標榜して毫も其實なし立憲の正道を唱へて自から其條規に悖るのみならず方今世界の變局に處して大政を輔弼するの經綸あること莫し之本案を提出して所決を促す所以なり

●冬期沿海漁業の昨今(下)

迎日灣附近の鰊漁=浦項陸上至難=東海岸の不正漁業者=捕鯨事業不振

水產課長 生田淸三郎氏談

▲**迎日灣鰊漁** 迎日灣に於ける鰊の漁事は數日前より多少の漁獲を見つゝあり本漁も亦鮮人向け消費品にて漁業者は内鮮人相半するの狀況なるが昨臘中魚群の大集來を見たる事ありしに當時風浪高かりし爲め出漁の運を得ず空しく好機を逸せし事あり以來著しき來游なしと雖も時に群來あり、同地の定置漁網約三百は最近全部の敷設を終へしが刺網は千艘近く來集するを常とせるも今年は未だ左程の數に達せず

▲**漁獲陸揚難** 漁獲物の陸揚げ地たる浦項は由來非常の遠淺にて船の出入に多大の不便あり風浪一度起らば沖合の漁獲物は爲めに其の陸揚げを得ず陸に近づき乍ら放棄の止むなきを見ること珍らしからざる狀態なりしが殊に本年は最近激浪襲來して土砂を盛り上げ江口を閉塞せる爲め荷物の積卸上非常の危險を感ずるに至れり今後の漁獲に對しては樂觀の模樣なるも其の陸揚げに就きては悲觀甚しく當業者は何れも愁眉を顰め居れり

▲**東海岸漁業** 秋冬季に於ける鯖鰹漁業は慶尙北道江口、九龍浦、甘浦及び慶尙南道方魚津を主要根據地とせる内地通漁船に依りて行はれ其の船數每年六七百艘を下らず、流網、釣船漁業を主とし漁獲物は山神組、林兼組の手によりて其の大部分を内地に搬出す、本漁事は最近の發達に係るものにして前記主要の根據地も亦た之れに伴うて新に起れるものなるものが各地とも大に活氣を呈し居れり本年は虎疫の爲め一時漁を停止されしも解禁後相當の漁獲を得たるを以て今日に在りては從業者の創拔甚しからざるものゝ如し、然れども東海岸一帶の漁業に就きては寒心に堪へざる一問題あり、卽ち甘浦、九龍浦以北に於けるダイナマイト不正漁業者の跋扈にして鮮人中にも之に感染せるものあり、正當業者は爲めに漁場を制限せられ非常の不利を蒙り居れるが此の結果は或は正當業者にして漸次不正業者に轉ぜむとする傾向なきやの虞れを免る能はず、之が禁壓の必要は益々痛切なるを認む

▲**沿海捕鯨業** 朝鮮沿海の捕鯨事業は東洋及び日韓兩會社の經營に係り平年三百頭約三十萬圓の漁獲あり、其の根據地中最も著名なるは慶尙南道蔚山にして同地は氣候中和なるより沖合操業日數多く且鯨肉運搬の便ある爲め會社に於ても主力を此處に注ぎ居れり、漁獲の種類は十二月より一二月に亘りては克鯨大部分を占む元來克は沿岸に近寄り又た比較的群游するの習性あるが故に風浪烈しき冬季に在りては捕獲に多大の便あり、然れども本年は如何なる原因にや地來方に游するもの極めて少なく捕獲從つて捗々しからざるより會社も稍狼狽の氣味あり、從來の漁獲狀況に徵せば斯の如きは素より一時の現象ならむも經營者としては多少の打擊なる可し、又た江原道長箭漁場は例年一月下旬より二月末に亙る間を除く外は操業を繼續しつゝありしが今年は寒氣熾烈の爲め一月上旬既に全部の引上を見、咸鏡南道新浦の根據地は例年通り十二月上旬に於て引上を了れり、狀況斯の如くなるを以て今後鯨群の來游を見ざる限り本年の捕鯨事業は多少の不成績を免る能はざる可し

●朝鮮鑛業會創立進捗

朝鮮に於ける鑛業關係者を網羅して鑛業會なる一團體を設け協心戮力斯業の發展を圖るべしとの議は識者の間に唱へられしも時運未だ來らず今日迄其の實現を見ざりしが歐洲戰亂以來其の影響を受けて一般にあ

▲**鑛業界の殷賑** は意想の外にあり、朝鮮鑛產物の如き日に漸多きを加へ其の年產既に三千萬圓を超ねんとし又各方面有力者の半島鑛業に對する注目著手の今後益々多かるべき事は豫想に難からず前途益々多事なるより玆に諸般の事情は鑛業會創設の機運を熟せしむるに至り最近各地に於ける有力鑛業家は京城に集合して寄り〳〵協議を凝せし結果二十二日ファミリーホテルに十數名の主唱發起人一部の協議會を開き滿場一致其の組織を可決し何れも十分の盡力をなす事となり早くも二十三日より京城久原鑛業會社出張所に假事務所を開設する迄に進捗したるが今後の豫定は近々發起人たるべき二三の有力鑛業家は諸種の案を齎して東上し當路大家の門を叩き其の所見を承合して後

▲**發起人の顏觸** れを決定し各般の準備を進め遲くも本年三月末迄には其の成立を告げしめ事務所を開き機關雜誌を刊行すべしといふが創立準備並に當分活動に要する基金は各發起人にて分擔出費すべし尙ほ鑛業會の目的は大要左の如く先づ雜誌の發行に始め漸を逐うて其の完備を圖るべく會員は鑛業關係者及び鑛業に關する有志家を以てするもの、如し

一、倶樂部を設立し時々會員の懇話會を開き鑛業の經營發展に關する諸般の問題を研究し之れが意見を公表し或は學植名望ある大家を招聘し講演會を催す事

二、鑛產館を設立し內外に於ける各種鑛物の標品を陳列する事

三、圖書部を設立し鑛業に關する內外の圖書及雜誌を蒐集する事

四、鑛業に關する當局の諮詢に答へ或は意見を上申する事

五、鑛業雜誌を發行し鑛業上必須の參考資料又は意見を發表し兼て鑛業思想の普及を圖る事

●郵貯千萬 朝鮮の新記錄

朝鮮總督府所管に係る郵便貯金は前年末に於て九百八十萬圓に達したるが新春に入り尙ほ預入は漸增の趨勢をとり一月十一日の現計遂に一千零三萬圓に及び朝鮮郵便貯金の新記錄を作り二十二日は一千零五萬圓を算せり而して預入人員は昨年十二月五日に於て百萬人を超ゆるの盛況に達したるが之れ兎に角一般景氣の好調と鮮人の備荒貯蓄思想の漸次發達せる爲めと云ふを得べく遞信局の貯金管理所にては近々一千萬圓の祝賀會を擧ぐべき計畫ありと

●西鮮貿易對照

西鮮地方卽ち鎭南浦稅關管內南浦、平壤、新義州等の貿易につき最近三個年間の出入趨勢を價格數字上より列示對照すれば左の如く昨五年に至り各地何れも俄かに著大の發展を遂げたるを見るべし

國別		大正五年	同四年	同三年
南浦	輸移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	輸移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新義州	輸移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
管內合計	輸移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●平南重要物價

戰亂突發後諸物價の大勢は輸移出品軍需品の一部分を除きては一般に下落し輸移入品は概して騰貴を見たるが戰局の擴大するに連れ勞銀の騰貴原料輸入困難通貨の膨脹需給狀態の變動等に依り物價に及ぼしたる影響著しきものあり特に西鮮は農產物を除き凡百の貨物は總て之を輸移入に仰ぎつゝあるを以て其影響を受くるの度合は内地の其れに比し更に深甚なるべき狀況の下にあり今主要物貨の大正四年十二月末及び五年十二月末に於ける貨物を比較するに左表の如し

▲白米(石) 四年度末十二圓、五年度末十四圓▲麥(石) 四年末四圓十錢、五年末五圓五十錢▲玄米(石) 四年末九圓二十錢、五年度末十二圓四十錢▲粳粟(石) 四年度末九圓、五年末八圓六十五錢▲小麥(石) 四年末八圓五十錢、五年末七圓九十五錢▲大豆 四年度末五圓七十錢、五年七圓四十錢▲小豆 四年八圓、五年末八圓五十錢▲牛皮(百斤) 四年五十八圓、五年五十圓▲生牛(一頭) 四年三十圓四十錢、五年五十圓▲繭(石) 四年四十四圓二十錢、五年五十四圓五十錢▲金巾(四十尺) 四年四圓、五年三圓五十錢▲石油(一罐) 四年末三圓八十錢、五年末三圓四十錢▲綿糸(一玉) 四年二圓八十錢、五年末三圓五十錢▲砂糖(百斤) 四年十二圓五十錢、五年末十二圓▲日本木棉(四十尺) 四年末二圓五十錢、五年一圓七十五錢▲神戶洋紙 十六斤 四年末一圓八十錢、五年末不詳

前掲の如く移出品にありては小麥及び牛皮の外何れも多少騰貴の趨勢あり小麥牛皮は前年時局の關係にて相場昇騰したるも最近に至りては多少低下せり輸移入品は戰亂突發後大正五年初頃迄は騰貴一方にして殊に砂糖石油藥品金物等は價格暴騰し其後漸次常態に復しつゝありしも最近に至り又々騰貴の傾向あり(平壤)

南言北語

今度駐英露國大使に任ぜられたサゾノフ氏は熱烈な愛國者で露國の上下に浸潤して居た親獨熱の掃滅に全力を傾注して例の單獨講和說を退治したのも氏の力である▲氏の政治家としての手腕は有名なゴルチャコフ以後第一人と稱せらるゝ程である▲千九百十年イズヴォルスキー氏の後を襲ふて外相の椅子に就てから六年間其の位置を保つたなどは政變の激しい露國では珍らしいと云はれて居る▲氏の舌鋒は又た思ひ切つて鋭いもので敵手の肺腑に徹するものがあると云ふ▲大戰勃發當時氏は某外國通信員に向つて曰く▲吾等露國人は石を枕にして國境に立つこと四十年今之を敵の面上に投げ付る時が來たと▲氏は獨逸を倒す爲に生れたやうなもので今度駐英大使になつて盟邦に使するのは蓋し氏の本懷で又た得意に相違ない▲是より兩國の契合は更に緊密なるものがあるのであらう▲米國ではブライアン氏とタフト氏とが盛んに平和論を戰はして居る▲ブライアン氏のは絕對的の平和論だがタフト氏のは場合に依ては戰爭も已むを得ないと云ふのである▲處が昨今活動寫眞で兩人論戰の模樣を寫して興行して居るものがあるとは遉がに米國式だ▲日本でも若し今度議會が解散にでもなつて總選擧があらば思ひ切つて活動寫眞を應用する候補者が飛び出すかも知れぬ▲イヤ此般は面白いから大當りかも知れぬよ▲成金連中は扨て奈何となすかね

○鄭家屯日兵撤退

鄭家屯の我駐屯兵は交涉調印と共に撤退の筈也(奉天特電)

○滿鐵製糖好評

奉天に設立すべき南滿製糖會社は支那官憲の氣受け甚だ好く支那農夫をして二千五町步に甜菜を植付けしむることに決定來る十月より開業すべし(奉天特電)

○鐵鑛區域紛騷

滿鐵鞍山站製鐵所の鐵鑛區域の土地買入に付き人民との間に紛騷を生じ人民側は代表者二十餘名を北京に派遣し該契約取消方を外交部に運動しつゝあり(奉天特電)

●忠南納稅と副業

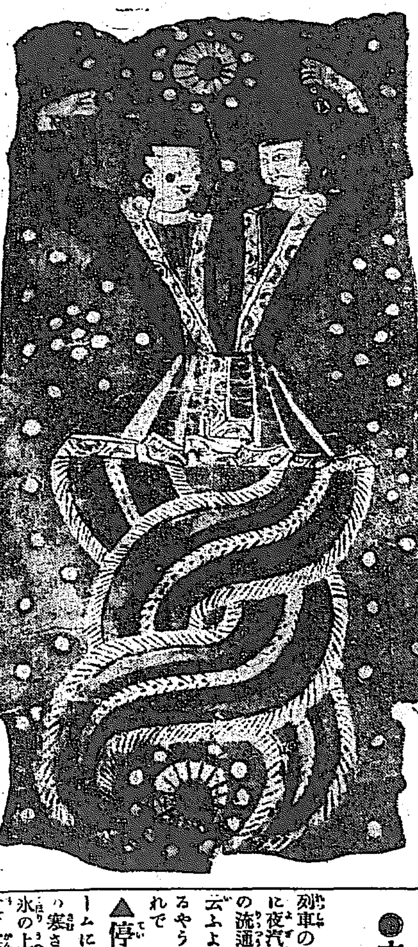
[illegible] 擴張の途を講ずるは最急務に屬す [illegible] を以て大正四年度に於て [illegible] の調達は之を副業に依る收得金に俟 [illegible] 帳と結數連名簿との對照事務を行ひ [illegible] して米作殊に [illegible] り前記徵收に關する施設と相俟て本 [illegible] したる金額のみにても既納收入金よ [illegible] 來に比し著しく ▲其の增加を見 [illegible] 如く副業の收入金に俟つもの頗る多き [illegible] を以て(其他にも種々の原因は任り)成績比較的不良なるに反し市 [illegible]

[illegible]面及び郡の實地督勵に從ふもの多か[illegible]り然るに面及び郡の事務は日に月に繁劇を加へつゝある時に於て之が

▲徴收困難を感じ つゝある地税小額納税者に對する納税資金[illegible]

[illegible]度でも之の方針を繼續し目的の貫徹に力めたり然るに本年度は地税名寄[illegible]る苦痛を感ぜざりしのみならず寧ろ其の金融を[illegible]ず餘裕あるに至る收入金を以て第一期分地税に充當[illegible]

▲納期内完納し[illegible]る成績を示し又副業既に特殊物に依[illegible]税額に對し一割〇五の割合を示し從前記納税觀念の向上[illegible]六割に上り更に本年度[illegible]八分の向上を見るに至れり又市街地税及び家屋税に在りては市街地外の[illegible]めたる金額六萬三千四十餘圓の多きに達し如何に農家副業の發達が徴税上に好結果を與へつゝあるかを窺ふに難からざるべし(公州)


高昌國人の墳墓内にある陰陽神像の圖 (支那新疆省喀喇和卓にて發掘)

●珍らしい西域の畫像
男の冠と女の頬に特色がある

昨夏久原氏から寄贈された西域の發掘品はこのごろ景福宮内の總督府博物館に全部陳列された、陳列所は慶會樓の南側修政殿内の全部で陳列品は總て大谷光瑞伯の發掘された支那新疆省高昌國の遺物である、これは言ふまでもなく以前

◇六甲山の二樂莊に 陳列されたもので西域地方の研究者にとつては垂涎禁ずる能はざる珍品のみである、これまだ歐洲戰爭以前には歐米の學者が支那研究に熱中して種々の發見や報告が出たが總督府博物館の陳列品の如きは實に得難き逸品のみである、中にも今年の巳の年に因むだものは孫て紹介した

◇原始的迷信による 男女合體の蛇身の畫像であらう、畫は都合三枚あるがこれは唐の太宗に亡ぼされた西域高昌國の墳墓内にあつた神像の圖で發掘した場所は新疆省の喀喇和卓である、彼の露領土耳斯に境を接し南方遥かに西藏の高原を望む新疆省の天地と

◇大戈壁の沙漠とは 此の畫の前に起つた人にとつて無限の感慨を湧かしむるのである、三枚の畫はその中の一つで粗つぽい麻地に胡粉と朱と墨とを以て描き他の二つが細かい絹地に同前の三色で描かれて居る、而して男女二人の畫像は恰もカルタの女王のやうな意匠で蛇身となつた上下には日月星辰の象を現はしてゐる、――これに就ては未だ

◇確かな考證がない がこの風習は佛教以前のものならんとのこと高昌國の時代は朝鮮にありては新羅の時代であるが專門家の研究を待てば面白いことが發見さるゝことゝ思ふ殊に男の冠と女の頬に紅い圓形の紅をさしたところまでは朝鮮の花嫁花婿の裝ひと同じやうにも思はれる、猶ほ朝鮮の古墳では彼の有名な江西、龍岡の

◇高句麗時代の壁畫 を始め他にも高麗朝時代のいろんなものがあるがそれは多く十二支とか青龍、白虎、朱雀、玄武等の四神像を現はし蓮花模樣のものや當時の風俗畫などもあるから墳墓に慰靈畫をかけるのも兩者對照して面白いとであらう、またこの他の塑像などを見ると東洋よりも寧ろ西洋に近い節もある

◇西域は元と印度と の關係もあるが亞歷山大帝の印度遠征により西歐の影響もある、その他吐魯番地方の發掘の石膏細工や朝鮮の三國式に似通ひし青銅佛像や銅印、埴土の類など何れも非常な珍品である、殊に新疆省木次溝、木吐喇地方から出た古墳壁畫の如きは最も研究の價値あるもので他に梵字や回吃文字(イーグル文字)を記した壁畫もある

◇日本で回吃文字を 讀む人は京都大學の羽田教授のみであるが兎に角非常な珍品である、殊に高昌國は唐と同時代であるから這回關野博士が平壤で發掘された美術本府内の漢時代樂浪の遺物とは其の間多大の連絡があつて面白いと思ふ

◎騰貴した 鯨肉の價
寒氣が酷しいので漁獲が尠ない

東洋捕鯨會社江原道長箭事業場にては臘九外二隻を以て事業繼續中なりしが客月末よりの寒氣の爲め事業不可能となり一時蔚山事業場に引揚げる事に決し一月七日午後事業夫二名及び事務員一名を殘し全部蔚山に向け引揚げたるが

□今後約一箇月後には再度事業開始の豫定なりと同會社蔚山事業場の水揚高は昨年中百八頭あり本年に入りて十數頭の漁獲あり例年に比し稍減少の模樣なるが之れ鯨族の少きにあらず主として海上風波の爲め事業不可能に基因するものゝ如く昨冬中及び本月五日頃以降は概して不漁なり内地中國九州地方の近來稀なる嚴寒の爲め該地方も漁獲少きより魚價に著しき騰動を來し目下鯨肉百斤二十三圓餘の高値を示すに至りたるが

□之れを例年の價に比すれば七圓乃至十圓の高値なりと同會社各地の漁況を聞くに長箭は酷寒の爲め事業中止及び全南の兩地は何れも天候關係其他にて水揚げ尠く當紀州に於て數頭の捕獲ありしのみ目下内地各市場に於ける鯨肉は殆ど蔚山物獨占の姿なり從來鯨肉の販路は九州各地が殆ど大部分なりしが目下阪神地方の好景氣に伴ひ同地方に移送さるゝもの頗る多し之れ鯨肉騰貴の主因ならんと

●六時間餘り 雪中に立往生

列車の中はスチームが通つて居る上に夜汽車になると乘降客も少く外氣の流通が殆ど無くなるので温かいと云ふよりも寧ろ蒸暑いのとムツトするやうな惡臭で氣持を惡くしますそれで

▲停車中に 一寸プラツトフォームにでも降りて見ると何にしてもこの寒さですから堪りません蒸籠から氷の上に投げ出されるやうなもので直ぐ寒冒に罹る喉を痛めると云ふ有樣です私は新義州から乘車したのですがあちらの寒さも隨分烈しいのです京義線の寒氣は斷然と鍛臨御にも成つて居ります新義州から

▲宣川迄の 寒氣は同じ位で宣川から黄美まで平壤まで平壤から新幕まで新幕から開城、開城から京城までと云ふ風に寒さが遞下して居ります今朝六時過ぎ汶山を發して金村に入らうとすると金村驛で貨車が脱線して居るといふのでそれから十二時頃まで列車は猛烈の雪の中に立往生して居つたのですから堪りません

▲列車の中 は温かいが外へは一寸も踏み出せないのだから退屈で仕方がないのです室内の空氣は濁つて臭いし便所は凍つて一杯と云ふやうな風ですから非常でした(二十三日朝京義線列車一乘客談)

●嫌疑者逮捕
郡書記慘殺事件

既報平安南道龍岡郡廳書記竹中勇(四七)妻うし(四四)三女きね子(三)の三名を慘殺したる有力なる嫌疑者二十三日逮捕され目下嚴重取調べ中なり(平壤特電)

◎浮世の裏面 の鍵を握つた
質屋さんの宴會

去る二十日の夜花月で催かれた京城質屋組合の宴會は同業者七十三名に警察官新聞記者が列席して盛んなそして珍らしい會であつた。まづ

▲一座の顏振れ が面白い、此組合員七十三名の中以前からの本職とては僅か廿人に足らずあとは種々な職ある人々で官吏上りの丈でも卅餘名もあると云ふから内地で爪に火を灯し鼻紙を火に炙つて十度にでも使ふと云ふ伊勢屋さんとは大分勝手が違ひ集合の席でも中々

▲奇抜な議論 が出た其の一年一度の總會に取締役田村義二郎氏引退し後任に橋本茂雄氏が推され新役員の挨拶が終ると祝宴に移つた社會の裏面の鍵を握つた人達の寄合だけに談笑の中にも穿つた世の有樣が窺はれた總じて景氣のよい歳には同業者も繁昌する去年の暮は庫の出入りが多くて好都合だつた事やら市中何れも競爭が劇しいので精一杯に貸し出し顏なじみには自然情に絆されて時々背負ひこむ事やら成効する者は稀だが

▲開業者は多く 去年中には五軒の豫定が二十軒にも增ねた事やら預る品は色々で一番奇抜なのは人力車やレールやトロツコの類まであるなど話に花が咲いて散會したは深更であつた

◎目覺しい 雪合戰
咸北道廳の壯擧

咸北道廳では各高等官の發起となり一月十五日午後四時から馬術練習場(道廳の前)で廳員總出の雪合戰を行つた何か事がなければ日の暮れぬ斤氣者達は退廳時間を待ち兼ねて參集した腕を過ぐる

◇尺餘の雪 の中に最先に飛込だのは伊藤第二部長次いで山崎事務官雪中に立つて集れ二列にの號令に洋服のも和服のも一向平氣で雪の中に整列右向前への號令に

◇雪煙を立て 横列行進先づ見物人の膽を寒からしめた廻れ右を遣つて東西兩軍對陣互に張切つた元氣肩宇の間に溢れて居る東軍の將は山崎事務官西軍の將は八田技師審判員は李參與官、三田部長、伊藤部長及び井部技師の四人井部審判員兩軍に向つて敵將に

◇三つ雪彈 を當てた方は勝であると宣言し大聲一番開戰を命ず滿を持して對峙せる兩軍ワアッと鯨波を擧げて突進大地も爲に動かんばかり

◇戰士焦心 つて雪彈を造らんとせば雪は凍つて居るのと手が捏ねて居るので中々一寸の間に合はず寺に雪の上層凍つて煉瓦の如く塊まり大なるものは五六百目もある互に

◇何の遠慮 もあらばこそ投げるはく傍目も振らずはつしと當ればばつと散る雪煙に誰が誰やらさつぱり分らず大な雪彈を眞向顔面に喰つて

◇目も鼻も 雪だらけ兩手で目を拂つて居ると是に付け込み一彈又一彈呼吸も吐けぬ状態に是では堪らぬとくるりと彼方を向ひて背で受けて北極の

◇白熊宜敷 と云ふのもある西軍能く戰ひたるも八田技師二發の雪彈命中に避易ぐ所を又一彈三田審判員東軍の勝を宣した東軍三度勝鬨を擧げた次ぎに

◇第二回目 の合戰が開始された兩軍士氣益々振ひ前回の戰ひに汗たらく當ると鼻柱も挫けさうな雪彈を敵將目掛けて打つはく縱横に飛び交ふ其の光景

◇眞に壯觀 を極めた突賊突擊や雪彈を作るに遑あらず互に兩手で雪を掛け合ひ總身眞白つけ恰も雪達磨の合戰を見る樣であつた西軍は此の

◇雪辱戰に 必死となりて力戰したるも位置の惡るかつた爲か又も東軍をして勝鬨を擧げしめて三田審判員の意見で東西兩軍の位置を轉換せしめ第三回戰に移つた

◇二回續けて負けた八田軍今度こそはと大將自ら輕進せず山崎事務官相變らずの元氣で自ら先陣に立つた爲かあらぬか遂に勝を八田軍に讓つた次に第四回戰が開始された東軍例の如く自重三五

◇大男の陰 に隱れ西軍より猛烈に打出す彈も其の効なく勝に乘つた東軍よりは勢ひ凄まじく雨か霰の如く

◇西軍の將 を目掛けて浴せかける是ではならぬと三四の大男を楯として聳き之を楯として衆を叱咤督勵して居る何時勝負の果つべくも見えず互に戰ひ疲れて

◇飛ぶ彈 少くなつたので審判員總出で聲を涸して休戰を命ず其れより雄城倶樂部にて此の日の幹部より贈られたる酒肴に勞を慰せられ帝國の萬歳を三唱し在北鮮健兒の將來を祝福して解散したが近來會心の快擧であつた(清津)

◎象潟丸 獨逸潜航艇に 擊沈さる
佛國ロレーント沖に 乘組員無事

山下商會所有汽船第三象潟丸(四〇〇〇噸)は十九日佛國ボルドー發英國バリーロードへ向け航行中佛國ロレーント沖にて獨逸潜航艇に擊沈せられしも乘組員一同無事なりし旨同商會汽船部に入電ありたり右同汽船の乘組員は殆ど擊沈されたる長田丸の乘組員なり(大阪特電)

◎救助網に刎ねらる

京城水下町銀行員皮秉根母全召史(六一)は二十二日午後五時四十五分頃黄金町二丁目東拓會社附近にて義州通行きの京城電氣會社百十一號電車の進行し來りたるに氣附かず救助網に觸れて刎ね飛ばされ線路外に打倒れ人事不省に陷りたるが最寄派出所の巡査が驅付け南大門通一丁目村容齊醫師にて應急手當を加へたる蘇生したるが右頸顎部其他に治療十日を要する輕傷を負ひたりと

◎共謀して詐欺

平壤南町宿屋業金萬柚(三二)は平壤水玉里金錢貸借周旋業郭重憲(三〇)と共謀し鮮人齊里柳致群が兼て家屋敷を抵當に入れ百圓餘りの金子を借り出さんと運動中なるを聞き込み平壤[illegible]夏より十二月二十八日金百五十圓を借り入れ遣はすべしと柳を欺きて借用證を作らしめ該證書を以て前記楊有[illegible]より百五十圓を借受け兩人にて費消

◎清雲洞の火事

二十二日午後四時四十分頃京城清雲洞笠製造業梁永基方より出火したるを以て鍾路警察署員常備消防隊出動消防に努めたるも嚴寒にて頗る困難し隣家劉德在方にも延燒し朝鮮式温突建草葺二戸二棟合計温突八間半を全燒し同五時二十五分鎭火せり損害約八十五圓人畜に死傷なし永基妻宋姓女が娘の德順(九)に命じて火を起させ居る内松葉に燃わ移りて大事に及びたるものなりと

◎温突から發火

二十一日午後二時五十五分頃京城仁寺洞靴製造業李圭煥方より出火し常備消防出動温突五間を破壞燒失したるのみにて三時五分鎭火せり原因は温突の煙が屋根に燃わ移りたるものなりと

◎山口縣人會

仁川に於ける山口縣人會は來る二十六日午後五時より八阪樓に於て總會並に新年宴會を催す筈なるが當地の同縣人戸數は約百戸以上なれば定めし盛會なるべく因に世話人は河野竹之助、村谷吉藏、中村啓兵衛、吉金喜三郎の諸氏にて來る二十五日迄に申込むべく會費は金一圓當日會場へ持參すべしと(仁川)

◎新券藝妓の表彰

新券藝妓組合にては二十二日午後三時より同券藝妓及び券番關係者數十名を千代本に招待して新年宴會を催しその席上藝妓の成績優良者に對し賞品を授與したるがその順序は京奴、勇幸、文子、喜蝶、花奴、千代香、秀丸、玉子、小蝶、若香、獅子智惠子、一二三なりしと

◎加藤神社月並祭 龍山加藤神社にては二十四日午前十時より月並祭及び鎭火祭を執行する由なるが當日參詣者には火除札を分與すべしと

◎堅薪の寄附 京城南米倉町佐藤平治氏は[illegible]に係る排下區域[illegible]千貫代金三十五圓[illegible]にして道路温突暖爐用として[illegible]なる德用品なり

▲寒い日曜の二十一日に丸家の丸子と玉子が一人は旭町のメソヂスト教會に一人は南山の本願寺へ行つてゐたのを見た人がある▲是まで度々問題になつた仲人の事だけにあの寒い日に後生氣を出しての教會行きとお寺詣りはそこに何やらいろくの意味が含まれてゐるやうで面白い▲今度死んだ東京相撲の君ケ濱は元大の川と言つて恐ろしく力の強い力士だつたが酒の強い事も又素敵なもので五六年前の合併相撲の時土俵で貰つた四斗樽の中から丼鉢でグイくと汲み出して大半飲んでしまつたのには流石酒豪の多い仲間を驚かした事があるさうだ

御徳用堅新賣

カマドオンドロストーブ用 本月中十貫目に付 金三拾錢 外に配達賃 五十貫以下 五錢 十貫に付 廿五錢 五十貫 百 四十錢

龍山憲兵分遣所前通 京町龍山 安まき賣場 京城南米倉町九十三番 京城販賣申込所 佐藤平治

社告

京日案内廣告料金左之通り改正し大正六年一月一日より實行仕候

番外 五行一回 金壹圓
普通 三行一回 金五拾錢
匿名一回毎に拾錢增し無割引

京日案内

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金壹圓 匿名一回毎に拾錢增無割引 申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 大和町三ノ三(柄澤前) 起木屋 84

古本と古樂器買受は絶大の信用ある 本町ウツボヤ書店 電話二五二七番 39

京城狂犬病豫防注射所本町二ノ四五 犬猫牛馬等に豫て狂犬病豫防注射を施し置けば狂犬病に罹らす 83

女郎兒やりたし(生後十日前位)(姓名在社) 76

一支店長見習數名入用 京城本町二丁目 大橋商店 80

乳母入用 身體健康生後五十日の子供の爲に 希望者あらば子供を托しても可し(姓名在社) 81

金融 月收の方に極秘信用便宜立替御伺又は來談 本町電車終點 質屋 大和屋 82

八格高く風彩良き助手看護婦及會計係招聘志望者本人直接來談あれ 古市町電車停留所前 岡崎町病院 77

店員一名 十八九歳の者入用 名酒造に三年以上經驗ある者 龍山元町 畠山酒造場 電一五四番 79

古本買受申候御報參上 本町一丁目(明治町) 電話二六三六番 野村書店 51

古本熱心高價買入 非御試買を乞ふ 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 58

番外 風彩良き男女外務員を募集す但し女は市内の妙金なれは確實なる保證人を要す男女共履歷書携帶來談あれ 京城長谷川町五十八番地 日本勸業銀行代理賦販賣所編輯部 85

年金恩給 低利 特別長期 即時 全額立替極秘 京城永樂町一丁目 16

▲併金錢 商品陳列館表門前下ノ角 江州屋本店

財産利殖の最良法 (金儲の近道)株式相場の素養あり富豪又は資力家の財利殖係に招聘せられたし(姓名在社) 33

皮膚病徽毒淋病專門 京城明治町二丁目(元曙町) 看護婦入用見習看護婦 佐藤醫院 46

眞綿 本白●角製●試製したるものの割合にて試賣す送料無(百匁以上)三圓の 京釜線大田 振替京城三六三番 東蠶社 78

初春の美くしいお肌はレート洗粉で一層滑々と豐やかに艶美くしく

レート洗粉

東京 平尾贊平

宮内省 皇后宮職 各宮家 御用命

日本人の皮膚に一番適した 白く艶増す

怒濤の月　五十八

小林蹴月作　武內桂舟畫

まがつみ『十二』の二

幸三郎が絹代を扶けながら、指ケ谷の角から俥に乘らうと爲る時、不思議にも雨は忘れたやうに霽つた。二ツ三ツ四ツ……鈍い光の星の影さへ、ちらほらと空の彼方に見わ初めたのである。幸三郎は、屈竟天の助けだと思つた。本來ならば、友人の村山の許まで行けば、道程も近いし、彼々の都合も大いに好いのであるが、頑固の村山が又、何のやうな根强い意見を吐いて、拒絶するかも計りがたいし、縱し、拒絶まで丶なくとも、彼の思ひ切つた筆法で、どし〲頭ごなしに論じ出された日には、氣の弱い絹代が、何れ程喫驚するかも知れない。寧その事客を泊める商賣の旅屋の方が優しであらう——斯う思案を決した結果が、即ち三崎町へと急ぐ事になつたのである。

『絹さん、さあお乘りなさい。』

幸三郎は、自分も一臺の方へ片足を掛けながら、たゆたげなる絹代に乘車を促めた。

『……はい、只今……。』と絹代は、それでも背後から追手の者が來はすまいかと、氣遣ひながら、俥に乘つたのである。

梶棒が上るとその儘、二臺の俥は一直線に電車道を水道橋の方へと走り出したが、間もなく、春日町の交叉點の所まで遣つて來ると、彼方から造兵廠の土塀に添ひながら——急ぎ足には見ねても、重さうな棺桶をさし荷ひにして、よた〲と歩いて來る三人の人足があつた。一人は問ふまでもなく、肩代りの人足なのである。それから三四間離れて、尻端折を爲た壯い十六七の男が、疲れきつたやうな悄氣返つた態で、息を切らしながら附き隨つて來るのであつた。

俥上から、摺れ違ひざまにそれを見やつた幸三郎は、何とも云ひ知れぬ不快の感に打たれた。厭なものに遇ふもんだと、慌だしく眼を瞑つて横の方を向いて了つたのである。後につゞいた絹代も等しく、それに氣付いた。日暮里へ送られる人なんだらうが、附いて行く親戚の人もないのか知ら……と、瞼を掩つて過ぎ去らうと爲たが、あやしくも遙かに胸騷ぎが爲出して、自分も何だか今の棺桶に附いて行きたいやうな氣分が爲て來た。で、俥上ながらに、躰を捻つて、棺桶の行く方を見送らうとする途端、遲れて附添つて行く壯い男の姿がほんのちらりと眼に止まつた。

『おやツ、源ちやんのやうな恰好を爲て……。』

斯う思つたのも、固よりほんの〲刹那の眼であつた。呼び止めて一度見たい……と、眼を擧げてモ一度見直さうと爲る内に、俥はずん〲と駆け出して了ふし、棺桶とその附添の壯者とは、すた〲と反對の方面へ懸け離れて了つたので、もう奈何とも爲るやうはなかつたのである。

幸三郎の設分知り合だと云ふ三崎町の宿屋と云ふのは、可なり工面の好くないらしい木賃宿の稍上等な家であつた。入口の古風な掛行燈には御旅人宿甲州屋と太い字で書いてあるのが、癪に障るほど薄暗く燻つて居る。それでも壯い男女連れと見て取つた女中は、渉からず氣を利かした了簡で、曲りなりにも床の間の附いてる二階の一番隅ッこの八疊へ案內して呉れたので、二人は、初めて肩の重荷を投げ出したやうな氣が爲て、覺わず溜息を吐きながら、久し振での顏と顏とを見合つた。

『阿兄さん……倉橋の阿兄さん、何にも申しませんから、今日までの事は勘忍して下さいましね。』

絹代の眼からは、語よりも先にも涙が一杯になつて溢れ落ちて居るのであつた。

『絹さん、お前の心から僕に違反したものでない事は、僕にも此の頃に至つて、能く判明したから、僕はもう決して腹を立つたり、愚痴がましい事は、言はん了簡ですがね、然し、お前は、飽まで親々からの約束を守つて、僕の妻に成り通す覺悟があるのか無いのか、それを眞先に聞いとかねばなりません。』

幸三郎は、ぎごちなく言つては見たもの丶、今漸く精神の落著きかけた所で、染々と絹代が辛苦と悲哀とに煩悶に窶れ盡した顏容を眺めて見ると、是丈の事を言ふにさへ、餘程氣の毒に堪へなかつたのである。

京城本町一丁目 千代田號印舖は〔振替九八七番 電話九八七番〕に改め

□寒句行（第一日）

寒句行の初日は雪が降り頻つた、寒風を衝いて來る者五人、縱横に句作して夜半散會、題、雪、寒肥、水鳥

石臼搗く水車の下や浮寢鳥　曾丘
寒彈や共借入りし研事　同
古樹の根を斜に現す吹雪哉　同
寒聲や窓を辷りて帷にある灯　耕鈴
官人の啼事や寒の聲　同
水鳥に渡舟の波の及びけり　同
雪明り一と渡舟また渡しけり　北星
呑めば醉うて摘れ居る雪の隣あり　同
手高く突き出す旅や雪の家　同
鳥を射て雪深々と踏みにけり　木雨
親分けて雪餅なあさる雪の鶴　同
皆醉うて雪の大路を踏みにけり　同
川へ雪掃く銀房の主かな　容堂
寒聲や亡姉思ふとき湧く涙　同
寒聲や城趾越の松間の旭　同
水鳥や提燈持ちて湖の宿　田打夫
寒彈きの家より先きは暗き町　同
雪明り屋明りなる闇の戸　同
愈使浩一郎の不圖を報す
雪落し居しが我門に入らで過ぐ　同

大錦が勝つた　恩師の喜び

九日目午後四時前十分天下の横綱鳳は西軍の副將大錦を敵として雌雄を決せんとする觀客號叫壯烈の氣塲內に脈動して本塲所中未だ見ざるの光景仕切直し一回又一回十三回にして氣合して立た其刹那其瞬間大錦ズブリ二本差し横綱を高々と正面土俵に吊出した滿場總立ち一個師團が突擊の鬨の聲も斯くやと思はれ機關銃百門を整發するが如き拍手を浴せられつゝ人波押分け押分け牙營に入れば一番に駆付けたのは誰あらう大錦の恩師遙々朝鮮から來た元天王寺中學校長現京城中學校長柴崎鐵吉氏で感極まつて口噤むだ大錦柴崎師の姿を見るや先生々々と呼び萬望々々と招き寄せ左側に坐らせカメラに向ふ錦ば臆しげに銀盃寄贈の目錄を握つて居る威風堂々四邊は光明に輝いた萬歳大錦萬歳耳を聾する栃木山も共に嫣乎として白き齒を露き『俺も控でハラ〳〵した』と恭悅至極で居る傍て彼の策戰に就て語る『連日兄弟弟子が鳳關の小手投を喰つて敗けるから小手を除ける事に非常に苦心しました註文は左差し咽喉に攻めて……と心算を捉めて居た所幸ひと二本差になつて……』と其餘は御寛の通りと語らず鳳は悲憤の涙を呑み乍ら『ウン〳〵小手を振つたら腹をドンと打付け腰が浮いたら二本差した「五月た」』と顏色蒼白彼の胸には高浪が打つて居た國技館に時ならぬ歡聲を聞いた時に鳳横綱の細君お福さんは良夫の身の上を感知して既に潛々と泣いて居たと云ふ力士の妻たれば勝負は時の運とばかり斷念し得ず良人の敗戰の注進に泣き崩る女性の殊らしさ實に同情に堪へぬ

新刊紹介

▲音樂會（新年號）音樂舞踊研究會七和樂器に社『靈山雪』『歌劇霊山』胡麻協の歌等の新曲記みには山本未翠の時評、齋藤平戸寺の『歌劇と平和か』小松西脇文學士其他音樂名家執筆の『ドブシーの音樂』『詩聖タゴールの音樂論』『音樂の新天地』等の生理的練習法『歌劇梗概』の外教育欄の大塚貞一氏等諸教師の執筆にて『新教育歌曲教授』『最近唱歌教授の研究』『唱歌と味噌』『家庭應用法』其外新利用法『音樂雜誌』の內外の新論が記載、壇の名家の新體詩、新作歌劇等音樂上に記載す（廿五錢東京神田三崎町三丁目音樂社）

▲可愛らしい少女新聞　少女の讀み物が漸次猥雜なるものを避け簡潔なるものを喜ぶの氣運に向ひつゝあることは時勢に伴ふ必然の要求なるがこの趣向を看取したる東京京橋銀治橋外東京社にては毎月二回一部二錢の小ぢんまりとした可愛らしい少女新聞を發行し體面の雜誌と同様各書店にて賣捌きつゝあり新年號には新渡戸博士以下三十餘項の讀み物を満載し且つ附録として『少女日課表』を添へ雜誌に劣らぬ內容を備へ而も讀むに手輕にし至便なれば全國少女の歡迎頗る盛んなりと尙代金は一箇年分五十錢なり

▲一月讀本　松飾り、歌留多會、朝鮮のお正月などの一般向の新年讀物を初め日吉丸の誕生、桶狹間の勝利、旅順の開城などの正月に因める歷史讀物其他二十六編を集めた面白くて教訓になる幼年の繪噺本で所々にポンチ畫を配してあるから幼年には最も適當な本の一として御すゝめします（二十五錢東京日本橋博文館）

▲音樂新樂譜（新年號）音界的名曲及教材普及のため明治卅四年以來發行せる小形樂譜なり本號は新年と卒業式に因める單音復音獨唱曲を満載す『遊山雪』『正調歌』『小島』『卒業式歌』三曲『卒業者送別』『螢の光拜参讃』『天職之歌』『新春』等の外文部省檢定曲等あり（十錢東京神田三崎町三丁目音樂社）

▲通俗音樂（第十號）高遠に馳せず鄙俗に陷らず現代の要求に最適切な和洋通俗曲『雨が降る春雨が』『花ちる夢』『謠蕃』『無邪節』等又西歐の通俗曲として『チッペラリイ』『久しき昔』等和英對照にて説明を付せり（十錢東京神田三崎町音樂社）

▲關西時報（新年號）保護か鍛錬か『菊池博士』『深國祝祭』『村山光治郎』『沖の石』『三野梅村』『諸悪』『山室軍平』其他（五錢兵庫縣尼崎市竹谷新田村一二三其社）

朝鮮人蔘ホーカースヰート
滋養菓子 用 應
▼堀越商店の製菓試驗部にて滋養强壯劑眞正朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカースヰートを試みよ到る處に販賣す
東京和泉橋 越堀 嘉太郎商店（振替東京一五六）

蘇峰學人著　最新刊
大正政局史論
定價貳圓　菊版四三〇頁　郵税金十八錢
憲政實施以來已に二十有八年、其の轉變無端、波瀾曲折、糺紛擾、甚葛藤、眞に憲政の危機に陷りしもの、未だ大正政變の如きは之れあらず。著者慨世の念禁せず、秋霜烈日の筆を揮つて、此の政變の由て來る遠因近因、眞因假因、正因傍因、一切を縱横無礙に論評し、以て其の眞相を闡明す。著者の位地は以て政局の秘機を知り、其の識見は以て時勢の推移を明にし、其の觀察は以て人物の肺肝を貫くに足るが故に、其の描寫せる大正政局の舞臺は、筆端靈動、生氣横溢せる一大活圖畫の如く、咄々吾人の眼前に展開し來つて、眞に血湧き肉躍るの概あり。正に是れ史學、史眼、史筆、の三長鼎立せる一大發現として、我が蘇峰學人の獨步雄視擅場に庶幾し
發行所　東京市日吉町　民友社　振替口座一三一〇〇番
大取次所　京城大平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

消化と毒けし　仁丹
正月の廻禮に宴會に觀劇に　仁丹離されぬ
金言　剛毅木訥は仁に近し（論語）

最新刊
◎佛教大辭典　織田得能　一六〇
◎日本帝國第卅五統計年鑑　內閣統計局　三五〇
◎歐洲の經濟的動員と國際金融　一五〇
◎人體の現象　三浦力太郎　一五〇
◎最新株式賣買　岡部　一二〇
◎礦業法令集　中村喜元　一三〇
◎岡田式靜坐の力　橋本五作　九〇
◎大英國の表裏　早川德次　八〇
◎性慾的衛生　鴨田鉄治　六〇
◎勇氣と修養　七〇
◎日蓮聖人の孝道　磯野木精　九五
◎健康禪　丸山小羊　五〇
◎劍道極意俗解　香川鐵　三五
◎運句入門　秋山仁三郎　五〇
◎古今名家書翰集　小野榮九　六五
◎新撰日本名家書畫年表　矢野幸六　二五
◎法律講義　坂上綱吉　特七五
◎同　法律問答　同　四〇
◎同　朝鮮行政法　大倉安造　四〇
◎同　同　續　同　四〇
◎同　巡查受驗提要　永野清　特四五
醫學博士　前田珍男子御賞讃
大阪屋號書店　京城本町二　電話二〇八六番　振替京城二五七三番

人蔘　精人蔘　其他土產品は　本町二丁目　大橋商店

生殖器障害　臟器療法
睾丸は生殖素たる精液を醸成する器官なれば動物の睾丸の浸出液を人體に注射し若くは是を精製服用せば必ず生殖器障害に偉效あるを公表せるブロンセカール氏の療法に則り苦心研究の結果完成せる最新療法にして男女神經衰弱及是に起因せる生殖器障害即ち陰萎、遺精、早漏、色慾缺乏、快感減少等に對し空前の卓効を奏し其新効力は實驗者が皆豫想外に驚喜しつゝあり ハガキで申込あれ詳細説明書密送す
東京神田淡路町二の四　東京臟器療藥研究所

スートーブ用　新荷到着
內地塊炭
一般需要に應じ申候
京城西小門町電話七二七番　西崎商會
京城鍾路角電話二四〇七番　西崎商會支店
京城西大門驛構內電話二二七番　西崎商會貯炭塲

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話四一一・八四一・九四五・四九四番　振替京城五七番

眼科專門　入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

模範牛乳　石鹸　洗粉　ニウソ
主要　肥塚正太
京城蓬萊町四丁目　東亞牧塲　電話五二番

返信券添へ照會あれ詳細回答す
百円進呈　りん病　ばい毒
麻病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし醫學上最有效と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て實揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓呈進
●あらゆる治療を講ずるも効なき患者は兎に角一度相談あれ
偽物に注意　隆盛を羨み東京京城大連青島其他到る處商會製劑を偽る奸商あり御需求の諸君は大阪有田直製を御買取可被下候
振替京城四六七番　電話長二五六七　京城南大門外　大阪グッドラッグ商會

金泉聞慶間自動車時間
金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間
大塚農塲自動車部　大邱出張所　電話一二七番

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
三河丸　二月十日　正午出帆
淡路丸　一月三十日　正午出帆
砂丸　一月三十日　正午出帆
仁川海岸町十一丁目　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶行
○大有丸　一月廿八日後四時出帆
○秀吉丸　一月廿五日後四時出帆
○君か代丸　一月廿三日後四時出帆
○神代丸　一月三十日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　杉回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第一共同丸　一月廿四日正午出帆
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　野口商會（電話一七三番）
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆
○群山、神戶、大阪行　漳州丸　一月廿六日午五時出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戶行　天智丸　一月廿八日後五時出帆
大信丸　二月二日
●神戶大阪行　安東丸　二月　日後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行　信濃川丸　一月四日正午出帆
大連行　大信丸
上海、芝罘行（大連出帆）湖北丸　一月廿六日後四時出帆
基隆丸
京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　內國通運會社京城支店

朝鮮郵船出帆
京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店

汽船釜山出帆廣告
立神丸　小倉丸　月　日後五時出帆
門司、神戶、大阪行
元山、西湖、新浦、城津、清津行
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町　本部取扱店　大池回漕部

商況
三月限　一七七、〇〇　一七六、四〇
四月限　一七六、〇〇　一七五、七〇
五月限　一七五、九〇　一七四、九〇
大阪期米（十九日）
仁川期米
▲現物